

2017 年度前期
「教員による授業アンケート」

～調査結果報告～

平成 29 年 12 月

奈良佐保短期大学 自己点検評価室

目 次

基礎教養科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
1	英語 I	竹野内 倫子	演習	1
2	基礎ゼミナール I	森永 夕美	演習	2
3	基礎ゼミナール I	池内 ますみ	演習	3
4	基礎ゼミナール I	戸田 信聡	演習	4
5	基礎ゼミナール I	坊 安恵	演習	5
6	基礎ゼミナール I	梓川 一	演習	6
7	基礎ゼミナール I	北村 麻樹	演習	7
8	基礎ゼミナール I	中田 奈月	演習	8
9	基礎ゼミナール I	藤田 悦代	演習	9
10	基礎ゼミナール I	別所 崇	演習	10
11	基礎ゼミナール I	増井 啓子	演習	11
12	基礎ゼミナール I	吉田 直子	演習	12
13	キャリアゼミナール	梓川 一	演習	13
14	キャリアゼミナール	戸田 信聡	演習	14
15	キャリアゼミナール	増井 啓子	演習	15
16	キャリアゼミナール	水野 尚美	演習	16
17	キャリアゼミナール	吉田 直子	演習	17
18	キャリアデザイン	碓 ともみ	講義	18
19	健康・スポーツ実習	渡部 悠香	実習	19
20	国語表現法	宮川 久美	講義	20
21	社会学	中田 奈月	講義	21
22	情報概論	中田 奈月	講義	22
23	情報処理演習 I	中田 奈月	演習	23
24	情報処理演習 I	中村 妙子	演習	24
25	心理学	解良 優基	講義	25
26	人権と差別	馬越 かよ子	講義	26
27	奈良とお茶	小島 友紀	演習	27
28	奈良とお茶	中島 由紀子	演習	28
29	奈良の食と文化	坊 安恵	演習	29
30	フランス語 I	浅野 友子	演習	30

生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
31	医療的ケアⅡ	水野 尚美	演習	31
32	介護過程Ⅰ	森永 夕美	講義	32
33	介護過程Ⅲ	水野 尚美	演習	33
34	介護過程Ⅲ	森永 夕美	演習	34
35	介護概論Ⅰ	武田 千幸	講義	35
36	介護総合演習Ⅰ	東 孝至	演習	36
37	介護総合演習Ⅰ	森永 夕美	演習	37
38	介護総合演習Ⅲ	武田 千幸	演習	38
39	介護総合演習Ⅲ	水野 尚美	演習	39
40	介護予防	中野 正英	講義	40
41	家事支援の技法Ⅲ・調理	須谷 和子	演習	41
42	グリーンプランニングⅠ	前川 良文	講義	42
43	社会調査法	中田 奈月	講義	43
44	社会福祉概論	森永 夕美	講義	44
45	障害の理解Ⅰ	梓川 一	講義	45
46	生活支援技術Ⅰ	東 孝至	演習	46
47	生活支援技術Ⅰ	武田 千幸	演習	47
48	生活支援技術Ⅲ	武田 千幸	演習	48
49	生活支援技術Ⅲ	水野 尚美	演習	49
50	生活と未来	東 孝至	演習	50
51	生活と未来	池内 ますみ	演習	51
52	生活と未来	武田 千幸	演習	52
53	生活と未来	戸田 信聡	演習	53
54	生活と未来	野間 智子	演習	54
55	生活と未来	坊 安恵	演習	55
56	生活と未来	森永 夕美	演習	56
57	生活と未来	水野 尚美	演習	57
58	生活レクリエーション	森永 夕美	講義	58
59	相談援助の基盤と専門職	武田 卓也	講義	59
60	低所得者に対する支援と生活保護制度	尾崎 剛志	講義	60
61	認知症の理解Ⅱ	東 孝至	講義	61

生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
62	栄養指導論 I	野間 智子	講義	62
63	栄養指導論実習 II	野間 智子	実習	63
64	カラーコーディネート論	中村 妙子	講義	64
65	基礎栄養学	三浦 さつき	講義	65
66	公衆栄養学	岩橋 明子	講義	66
67	食品衛生学	池内 ますみ	講義	67
68	食品衛生学実習	池内 ますみ	実習	68
69	食品衛生学実習	坊 安恵	実習	69
70	食品科学	池内 ますみ	講義	70
71	食品学実験	坊 安恵	実習	71
72	食事療法実習	野間 智子	実習	72
73	人体の構造と機能 I	毛受 真由美	講義	73
74	ゼミナール I (医療福祉)	野間 智子	演習	74
75	ゼミナール I (食ビジネス)	池内 ますみ	演習	75
76	ゼミナール I (食ビジネス)	坊 安恵	演習	76
77	調理学	池内 ますみ	講義	77
78	フードスペシャリスト論	坊 安恵	講義	78

生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
79	イラスト・画像処理 II	加来 慎太郎	演習	79
80	オフィス実務演習 I	吉村 司	演習	80
81	オフィススタディ	高橋 紀子	講義	81
82	経理実務 I	谷村 真理	講義	82
83	ゼミナール I (ビジネスキャリア)	上田 利博	演習	83
84	ゼミナール I (ビジネスキャリア)	戸田 信聡	演習	84
85	卒業研究 I	戸田 信聡	演習	85
86	データ処理 II	中村 妙子	演習	86
87	文書作成 I	中村 妙子	演習	87
88	マーケティング	戸田 信聡	講義	88

地域こども学科 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
89	音楽Ⅰ	大城 弓恵	演習	89
90	音楽Ⅰ	大西 有紀	演習	90
91	音楽Ⅰ	宮田 眞理	演習	91
92	音楽Ⅰ	山下 玲子	演習	92
93	音楽Ⅰ	吉田 直子	演習	93
94	音楽基礎演習Ⅰ(ソルフェージュ)	吉田 直子	演習	94
95	音楽基礎演習Ⅰ(理論)	中島 倍代	演習	95
96	音楽Ⅲ	玉井 奈摘	演習	96
97	音楽Ⅲ	本間 晶子	演習	97
98	学習・発達論	別所 崇	講義	98
99	カリキュラム論	藤田 悦代	講義	99
100	教育実習指導 b	北村 麻樹	演習	100
101	教育実習指導 b	増井 啓子	演習	101
102	教職入門	谷岡 義高	講義	102
103	国語	宮川 久美	講義	103
104	算数	重松 敬一	講義	104
105	実習基礎指導(教育実習)	梓川 一	演習	105
106	実習基礎指導(教育実習)	北村 麻樹	演習	106
107	実習基礎指導(教育実習)	増井 啓子	演習	107
108	実習基礎指導(教育実習・小)	藤田 悦代	演習	108
109	児童館の機能と運営	池田 英郎	講義	109
110	社会的養護内容	瀬戸野 喜雄	演習	110
111	社会福祉	梓川 一	講義	111
112	障害児保育	中島 順子	演習	112
113	小児保健 A	安永 龍子	講義	113
114	小児保健演習	安永 龍子	演習	114
115	生活	中田 奈月	講義	115
116	ゼミナールⅠ(音楽)	北村 麻樹	演習	116
117	ゼミナールⅠ(音楽)	増井 啓子	演習	117
118	ゼミナールⅠ(音楽)	吉田 直子	演習	118
119	ゼミナールⅠ(心と発達)	中田 奈月	演習	119
120	ゼミナールⅠ(心と発達)	別所 崇	演習	120
121	ゼミナールⅠ(こども教育)	藤田 悦代	演習	121
122	ゼミナールⅠ(自然と遊び)	宮川 久美	演習	122
123	ゼミナールⅡ	増井 啓子	演習	123

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
124	造形美術	吉川 れい	演習	124
125	総合演習(音楽)	北村 麻樹	演習	125
126	総合演習(音楽)	増井 啓子	演習	126
127	総合演習(音楽)	吉田 直子	演習	127
128	総合演習(心と発達)	中田 奈月	演習	128
129	総合演習(心と発達)	別所 崇	演習	129
130	総合演習(自然と遊び)	宮川 久美	演習	130
131	相談援助	別所 崇	演習	131
132	相談援助演習 I	梓川 一	演習	132
133	体育	東條 佳史	演習	133
134	保育・教職入門	増井 啓子	講義	134
135	保育(健康)	安永 龍子	演習	135
136	保育原理	北村 麻樹	講義	136
137	保育実習指導 I b	北村 麻樹	演習	137
138	保育実習指導 I b	中田 奈月	演習	138
139	保育表現演習 I	増井 啓子	演習	139
140	保育(表現・音楽)	奥田 尚子	演習	140
141	保育(表現・音楽)	吉田 直子	演習	141
142	幼児理解	藤田 悦代	演習	142

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 竹野内 倫子 **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : 英語 I **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8305a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 27名 **回答者数** : 24名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	23	1	-	-	-	-	-	24	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.17		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.2%	90分 程度 4.2%	60分 程度 4.2%	30分 程度 45.8%	ほとんど していない 41.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.2%	90分 程度 -	60分 程度 8.3%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 54.2%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.38		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 16.7%	やや 高かった 37.5%	適切 であった 41.7%	やや 低かった 4.2%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.54		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 16.7%	注意 していた 62.5%	ある程度 注意 していた 20.8%	あまり 注意し ていな かった -	全く 注意し ていな かった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.57		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.96		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.95		■ ◆				

1 授業改善の工夫

予習に関しては、毎回の実施箇所がある程度決まっております、それをシラバスに記載していたためしっかりとしてくる学生がほとんどだったが、復習は小テスト前のみしていた学生が多かった。英語 I の授業は1ユニットを2回に分けて学ぶので次の授業への準備(宿題)が復習にもなるが、家庭での復習時間をもっと持てるよう、授業中に取り組んだ箇所の復習を促す課題等を出していきたい。また、後期は映像も取り入れて、生きた英語に触れさせていきたい。

2 アンケート結果に対する見解

学生の興味に合わせて授業の進め方を変えていったことで授業への関心を継続できた。また、学生に考えさせる状況を多く作ったり、ペアワークを多く取り入れて学生同士で質問したり説明をする機会が多くあったことも、授業内容への理解度を上げることに繋がったと考える。テキストの難易度もほとんどの学生の英語レベルと合い、スマートフォンを使って解答するなど、デジタル機器を使用する機会があったことも授業へのある程度高い満足度と関係していると考えられる。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 森永 夕美 **職名** : 准教授 **所属** : 全学
科目名称 : 基礎ゼミナール I **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8001a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 14名 **回答者数** : 13名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	13	-	-	-	13	-	-	-	-	-

評価項目	教員の自己評価	学生の評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
		1	2	3	4	5		
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.23	■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上 90分程度 - 7.7%	60分程度 7.7%	30分程度 15.4%	ほとんどしていない 69.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上 90分程度 7.7% -	60分程度 7.7%	30分程度 15.4%	ほとんどしていない 69.2%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.08	■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切であった	非常に高かった 7.7%	やや高かった 23.1%	適切であった 69.2%	やや低かった -	非常に低かった -	無回答 -
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.17	■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する必要はなかった 38.5%	注意していた 23.1%	ある程度注意していた 30.8%	あまり注意してなかった -	全く注意してなかった -	無回答 7.7%
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.23	■				
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	3.92	■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.85	■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 池内 ますみ 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : 基礎ゼミナール I 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8001b 授業形態 : 演習 受講者数 : 40名 回答者数 : 36名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	36	-	-	-	-	36	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.81		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 2.8%	30分 程度 -	ほとんど していない 97.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 2.8%	30分 程度 8.3%	ほとんど していない 88.9%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.61		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 2.8%	やや 高かった 22.2%	適切 であった 66.7%	やや 低かった 5.6%	非常に 低かった 2.8%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.56		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 8.3%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 36.1%	あまり 注意して いなかった 2.8%	全く 注意して いなかった 2.8%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.66		■ ◆				
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.33		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.42		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 戸田 信聡 職名 : 講師 所属 : 全学
 科目名称 : 基礎ゼミナール I 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8001c 授業形態 : 演習 受講者数 : 6名 回答者数 : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	6	-	-	-	-	-	6	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.83		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない	無回答 -	66.7%
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない	無回答 -	66.7%
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.33		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 33.3%	適切 であった 66.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.50		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 50.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.50		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.33		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.50		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 坊 安恵 **職名** : 講師 **所属** : 全学
科目名称 : 基礎ゼミナール I **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8001c **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 6名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	6	-	-	-	-	-	6	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.83		■ ◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.33		■ ◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 33.3%	適切 であった 66.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.50		■ ◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 50.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.50		■ ◇				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	3.33		■ ◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.50		■ ◇				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 梓川 一 職名 : 准教授 所属 : 全学
 科目名称 : 基礎ゼミナール I 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8001de 授業形態 : 演習 受講者数 : 70名 回答者数 : 61名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	57	-	-	4	-	-	-	58	-	3

※オムニバス形式での一担当者としてのチェックです。

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.49		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.13		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 14.8%	適切 であった 78.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 1.6%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.36		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 45.9%	注意 していた 36.1%	ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった 1.6%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.36		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.10		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.28		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 北村 麻樹 **職名** : 講師 **所属** : 全学
科目名称 : 基礎ゼミナール I **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8001de **授業形態** : 演習 **受講者数** : 70名 **回答者数** : 61名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	57	-	-	4	-	-	-	58	-	3

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.49		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	3	4.13		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 14.8%	適切 であった 78.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 1.6%	
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.36		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 45.9%	注意 していた 36.1%	ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった 1.6%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.36		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.10		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.28		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : 基礎ゼミナール I 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8001de 授業形態 : 演習 受講者数 : 70名 回答者数 : 61名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	57	-	-	4	-	-	-	58	-	3

評価項目	教員の自己評価	学生の評価平均		◇ 教員の自己評価					■ 学生の評価平均				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
												1	2
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.49										
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 1.6%	90分程度 4.9%	60分程度 8.2%	30分程度 11.5%	ほとんどしていない 73.8%	無回答					
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 1.6%	90分程度 4.9%	60分程度 8.2%	30分程度 11.5%	ほとんどしていない 73.8%	無回答					
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	3	4.13										
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切であった	非常に高かった 4.9%	やや高かった 14.8%	適切であった 78.7%	やや低かった -	非常に低かった -	無回答					
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.36										
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する必要はなかった	注意する必要はなかった 45.9%	注意していた 36.1%	ある程度注意していた 14.8%	あまり注意してなかった 1.6%	全く注意してなかった 1.6%	無回答					
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.36										
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.10										
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.28										

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 藤田 悦代 **職名** : 教授 **所属** : 全学
科目名称 : 基礎ゼミナール I **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8001de **授業形態** : 演習 **受講者数** : 70名 **回答者数** : 61名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	57	-	-	4	-	-	-	58	-	3

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.49		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.13		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 14.8%	適切 であった 78.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 1.6%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.36		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 45.9%	注意 していた 36.1%	ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった 1.6%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.36		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.10		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.28		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 別所 崇 職名 : 講師 所属 : 全学
 科目名称 : 基礎ゼミナール I 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8001de 授業形態 : 演習 受講者数 : 70名 回答者数 : 61名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	57	-	-	4	-	-	-	58	-	3

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.49		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない	73.8%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない	73.8%	無回答 -
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.13		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 14.8%	適切 であった 78.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 1.6%	
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.36		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 45.9%	注意 していた 36.1%	ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった 1.6%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.36		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	4.10		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	3	4.28		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 増井 啓子 **職名** : 教授 **所属** : 全学
科目名称 : 基礎ゼミナール I **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8001de **授業形態** : 演習 **受講者数** : 70名 **回答者数** : 61名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	57	-	-	4	-	-	-	58	-	3

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.49		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない 73.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.13		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 14.8%	適切 であった 78.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 1.6%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.36		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 45.9%	注意 していた 36.1%	ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった 1.6%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.36		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.10		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.28		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 吉田 直子 **職名** : 講師 **所属** : 全学
科目名称 : 基礎ゼミナール I **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8001de **授業形態** : 演習 **受講者数** : 70名 **回答者数** : 61名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	57	-	-	4	-	-	-	58	-	3

評価項目		教員 の 自己評価	学生 の 評価平均		◆ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.49		■■■■■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど して いない 73.8%	無 回 答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 1.6%	90分 程度 4.9%	60分 程度 8.2%	30分 程度 11.5%	ほとんど して いない 73.8%	無 回 答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.13		■■■■■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 14.8%	適切 であった 78.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無 回 答 1.6%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.36		■■■■■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 45.9%	注意 していた 36.1%	ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった 1.6%	無 回 答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.36		■■■■■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.10		■■■■■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.28		■■■■■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 梓川 一 職名 : 准教授 所属 : 全学
 科目名称 : キャリアゼミナール 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8008ab 授業形態 : 演習 受講者数 : 88名 回答者数 : 31名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	31	-	-	9	3	5	13	-	1

※オムニバス形式でのサポート担当としてのチェックです。

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.03		◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 3.2%	30分 程度 3.2%	ほとんど していない 93.5%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.5%	30分 程度 -	ほとんど していない 93.5%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.77		◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 3.2%	やや 高かった 19.4%	適切 であった 77.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.84		◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 35.5%	注意 していた 29.0%	ある程度 注意 していた 25.8%	あまり 注意して いなかった 6.5%	全く 注意して いなかった 3.2%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.93		◇				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.77		◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.06		◇				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 戸田 信聡 職名 : 講師 所属 : 全学
 科目名称 : キャリアゼミナール 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8008ab 授業形態 : 演習 受講者数 : 88名 回答者数 : 31名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	31	-	-	9	3	5	13	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.03		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 3.2%	30分 程度 3.2%	ほとんど していない 93.5%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.5%	30分 程度 -	ほとんど していない 93.5%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.77		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 3.2%	やや 高かった 19.4%	適切 であった 77.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.84		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 35.5%	注意 していた 29.0%	ある程度 注意 していた 25.8%	あまり 注意して いなかった 6.5%	全く 注意して いなかった 3.2%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.93		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.77		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.06		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 増井 啓子 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : キャリアゼミナール 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8008ab 授業形態 : 演習 受講者数 : 88名 回答者数 : 31名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	31	-	-	9	3	5	13	-	1

評価項目	教員の自己評価	学生の評価平均	◆ 教員の自己評価					学生の評価平均						
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.03											
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上 -	90分程度 -	60分程度 3.2%	30分程度 3.2%	ほとんどしていない 93.5%	無回答 -						
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 -	90分程度 -	60分程度 6.5%	30分程度 -	ほとんどしていない 93.5%	無回答 -						
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.77											
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切であった	非常に高かった 3.2%	やや高かった 19.4%	適切であった 77.4%	やや低かった -	非常に低かった -	無回答 -						
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.84											
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する必要はなかった 35.5%	注意していた 29.0%	ある程度注意していた 25.8%	あまり注意していませんかった 6.5%	全く注意していませんかった 3.2%	無回答 -						
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.93											
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.77											
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.06											

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 水野 尚美 職名 : 講師 所属 : 全学
 科目名称 : キャリアゼミナール 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8008ab 授業形態 : 演習 受講者数 : 88名 回答者数 : 31名

回答者 内訳	学 年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	31	-	-	9	3	5	13	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.03		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 3.2%	30分 程度 3.2%	ほとんど していない	無回答	93.5%
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.5%	30分 程度 -	ほとんど していない	無回答	93.5%
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.77		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 3.2%	やや 高かった 19.4%	適切 であった 77.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.84		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 35.5%	注意 していた 29.0%	ある程度 注意 していた 25.8%	あまり 注意して いなかった 6.5%	全く 注意して いなかった 3.2%	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.93		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	3.77		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.06		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 吉田 直子

職名 : 講師

所属 : 全学

科目名称 : キャリアゼミナール

科目群 : 基礎教養科目

授業コード : 8008ab

授業形態 : 演習

受講者数 : 88名

回答者数 : 31名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
-	31	-	-	9	3	5	13	-	1	

◇ 教員の自己評価

■ 学生の評価平均

1 2 3 4 5

評価項目	教員の自己評価	学生の評価平均		学生の評価平均				
		120分以上	90分程度	60分程度	30分程度	ほとんどしていない	無回答	
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.03	■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど課していない	-	3.2%	3.2%	93.5%	-	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど課していない	-	6.5%	-	93.5%	-	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.77	■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切であった	3.2%	19.4%	77.4%	-	-	-
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.84	■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する必要はなかった	35.5%	29.0%	25.8%	6.5%	3.2%	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.93	■ ◆				
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.77	■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.06	■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 碓 ともみ **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : キャリアデザイン **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8190abc **授業形態** : 講義 **受講者数** : 118名 **回答者数** : 108名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	107	1	-	-	13	38	5	52	-	-

評価項目		教員の自己評価	学生の評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.27		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分以上 18.5%	90分程度 25.9%	60分程度 23.1%	30分程度 11.1%	ほとんどしていない 21.3%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分以上 17.6%	90分程度 25.9%	60分程度 26.9%	30分程度 12.0%	ほとんどしていない 17.6%	無回答	-
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.19		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切であった	非常に高かった 8.3%	やや高かった 36.1%	適切であった 53.7%	やや低かった 0.9%	非常に低かった -	無回答	0.9%
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.09		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する必要はなかった 7.4%	注意していた 70.4%	ある程度注意していた 20.4%	あまり注意していません -	全く注意していません 0.9%	無回答	0.9%
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.05		■				
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.95		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.35		■				

1 授業改善の工夫

受講生主体型授業(アクティブ・ラーニング)を実施している。情報収集し、それをグループワークによって考えをまとめ、プレゼンする一連の中で「社会人基礎力」を養う。パワーポイントを見るだけでなく、そのことを踏まえて自分の出来事(経験)から新たな自分発見や将来に向けた思考力を身に付ける授業内容にした。「自分自身で自律的に創るキャリア」を実感できる様に言葉を用いて「自分語り」をするなど授業に取り入れるなど工夫した。

2 アンケート結果に対する見解

授業の進め方で内容の他に板書や自分で考える力を身に付けさせるための授業に徹した。文字を書くことが苦手である現代の若者に対して、社会では、他人の話を聴き、メモをとる作業が多くなるために、集中力と要約をする事も大事だと考えている。なるべく、実体験を入れる様にして、「社会」を感じてもらえることを中心にした。レポートの提出は中間に設けてあり、自分自身を考えるというこの科目を真剣に受けとめて頂きたいとの思いから試験を実施する。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 渡部 悠香 **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : 健康・スポーツ実習 **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8255ab **授業形態** : 実習 **受講者数** : 56名 **回答者数** : 38名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	1	37	-	-	-	-	-	36	-	2

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.45						
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 7.9%	90分 程度 2.6%	60分 程度 5.3%	30分 程度 7.9%	ほとんど していない 76.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 7.9%	90分 程度 -	60分 程度 5.3%	30分 程度 2.6%	ほとんど していない 84.2%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	2	4.00						
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 15.8%	やや 高かった 10.5%	適切 であった 71.1%	やや 低かった -	非常に 低かった 2.6%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.53						
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 23.7%	注意 していた 63.2%	ある程度 注意 していた 10.5%	あまり 注意し てい なかつ た 2.6%	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.61						
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.32						
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.55						

1 授業改善の工夫

授業クラスとしては、遅刻、中抜け、迷惑行為がとて目立っていた。一方で、指導者視線を持ち、全体をまとめようと一生懸命取り組む学生も多かった。クラスの特徴を生かし、互いに指導する立場や教えられる側の視点を十分に理解できるように、大半の時間をグループごとにそれぞれスポーツを通して教え合うことのむずかしさ、伝えることの難しさに触れる形式を行った。参考文献など調べ指導方法を用意してくる学生、自己の運動経験から率先して高い技術を伝える学生、グループのリーダーシップをとる学生など様々な様子が見られた。中でも、同年代への指導や助言の難しさに苦戦している様子もあった。いずれにしてもスポーツという目に見える成果を通して、自己理解を深めさせ、さらには他者を受容できるよう、社会にでた時に役に立つことがそれぞれ一つでも多く見つかるように授業工夫をした。これらは、「ストレス」という健康を害するものへの対処法を見出すことにもつながると考えたためである

2 アンケート結果に対する見解

受講態度に関しては、予想以上に高い評価であった。提出物等を見て、時間のかけ方に差があったと感じていたからである。また、授業内にも集中できない、授業妨害などの声が多数出ていることも実際にあった。授業内容に関しては、多少計算が必要な問題やトレーニング科学的な話をしたときに、興味関心も二極化していたことを覚えている。運動が苦手な学生、もっと学びたい学生など差がみられたため、もう少しわかりやすい説明で興味を持たせ、授業を進めていたら多くの学生にとってわかりやすかったのかと今後の改善として考える。授業の進め方に関しては、一番注意を払っていた。説明や指示が通らなければ、怪我や事故の発生につながるため時には厳しく注意も行った。「できない」ではなく「楽しい」につなげる工夫をし、生涯を通して健康維持のためにスポーツに取り組んで欲しいと伝えていたので、全体評価が高くて幸いに思う。総合評価に関しては、⑩役に立つという部分で貢献できたことをうれしく思う。正直、運動場面ではルールやマナーに関して厳しく言及する部分が多く、靴の並べ方から礼の仕方まで理由を添えて伝えることに嫌な顔をする学生が多かった。しかし、結果的にスポーツに活かされ、仲間関係にも生かされ、こんな指導者になりたいという具体性を持った考えに変わった様子などを学生との会話の中で聞くことがとても印象に残っている。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 宮川 久美 **職名** : 教授 **所属** : 全学
科目名称 : 国語表現法 **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8110ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 86名 **回答者数** : 45名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	43	2	-	-	-	-	7	38	-	-

評価項目		教員の自己評価	学生の評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.96		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 -	90分程度 2.2%	60分程度 17.8%	30分程度 37.8%	ほとんどしていない 42.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 -	90分程度 4.4%	60分程度 15.6%	30分程度 35.6%	ほとんどしていない 44.4%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.09		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切であった	非常に高かった 6.7%	やや高かった 44.4%	適切であった 46.7%	やや低かった 2.2%	非常に低かった -	無回答 -	
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.73		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する必要はなかった 8.9%	注意していた 62.2%	ある程度注意していた 24.4%	あまり注意していませんでした 4.4%	全く注意していませんでした -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.82		■ ◆				
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.96		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.20		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中田 奈月
 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : 社会学
 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8145 授業形態 : 講義 受講者数 : 13名 回答者数 : 12名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コ ー ス	食物栄養 コ ー ス	ビジネス キャリア コ ー ス			
	-	12	-	-	10	1	1	-	-	-

評価項目		教員 自己評価	学生 の評価平均		◇ 教員の自己評価					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33		■ ◆									
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 8.3%	90分 程度 16.7%	60分 程度 33.3%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 8.3%	無回答	-					
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 33.3%	60分 程度 25.0%	30分 程度 25.0%	ほとんど していない 16.7%	無回答	-					
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	1	4.08		■ ◆									
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 25.0%	やや 高かった 50.0%	適切 であった 25.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-					
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.83		■ ◆									
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 75.0%	注意 していた 16.7%	ある程度 注意 していた 8.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	-					
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.08		■ ◆									
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.83		■ ◆									
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.83		■ ◆									

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中田 奈月
 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : 情報概論
 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8425 授業形態 : 講義 受講者数 : 5名 回答者数 : 4名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
				■ 学生の評価平均				
				1	2	3	4	5
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.00	◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分以上 90分程度	60分程度	30分程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分以上 90分程度	60分程度	30分程度	ほとんど していない	無回答	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	1	3.75	◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.00	◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 25.0%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.00	◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.25	◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.50	◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 **職名** : 教授 **所属** : 全学
科目名称 : 情報処理演習 I **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8405df **授業形態** : 演習 **受講者数** : 37名 **回答者数** : 33名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	33	-	-	-	-	-	-	33	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.39		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 -	90分程度 9.1%	60分程度 9.1%	30分程度 9.1%	ほとんど していない 72.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 -	90分程度 9.1%	60分程度 6.1%	30分程度 9.1%	ほとんど していない 75.8%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.30		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 6.1%	やや 高かった 39.4%	適切 であった 48.5%	やや 低かった 3.0%	非常に 低かった 3.0%	無回答 -	
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.06		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 27.3%	注意 していた 48.5%	ある程度 注意 していた 18.2%	あまり 注意して いなかった 3.0%	全く 注意して いなかった 3.0%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.12		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.03		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.33		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中村 妙子 **職名** : 教授 **所属** : 全学
科目名称 : 情報処理演習 I **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8405c **授業形態** : 演習 **受講者数** : 21名 **回答者数** : 20名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	19	-	1	-	-	20	-	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.50		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 5.0%	90分 程度 5.0%	60分 程度 15.0%	30分 程度 5.0%	ほとんど していない	70.0%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 5.0%	90分 程度 5.0%	60分 程度 15.0%	30分 程度 15.0%	ほとんど していない	60.0%	無回答 -
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.25		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 15.0%	やや 高かった 30.0%	適切 であった 50.0%	やや 低かった -	非常に 低かった 5.0%	無回答 -	
授業の 進め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.15		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 10.0%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 40.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.21		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.30		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 解良 優基 **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : 心理学 **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8125 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 61名 **回答者数** : 52名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	47	3	1	1	-	28	5	19	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.08		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 1.9%	60分 程度 3.8%	30分 程度 9.6%	ほとんど していない	84.6%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 1.9%	60分 程度 5.8%	30分 程度 11.5%	ほとんど していない	80.8%	無回答 -
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.23		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 17.3%	やや 高かった 32.7%	適切 であった 48.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 1.9%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.87		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 13.5%	注意 していた 53.8%	ある程度 注意 していた 28.8%	あまり 注意し てい なかつ た 3.8%	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.92		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	3.90		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.88		■				

1 授業改善の工夫

受講生が比較的多かったこともあり、教員による講義が中心の授業形式であったが、もっと学生同士の議論の時間を設けることができたらよかったと思われる。また、グループ学習を取り入れる際には単発で設けるのではなく、初回から継続的に経験を積み重ね、学生がグループの中で安心して発言できる雰囲気づくりに努める必要があると感じた。対人交流には前向きな学生が多いと感じたので、授業の冒頭でグループ単位での簡単なアイスブレイクを行うなどの工夫を入れることで円滑なグループ学習を期待することができるかもしれない。

2 アンケート結果に対する見解

自由記述の中で「教室が広すぎたため、スライドの文字が見づらく教員の声も聞き取りにくかった」という意見がみられた。スライドの文字の大きさやマイクの音量などに気を付ける必要はあるが、縦長の教室は教員側にとっても学生との距離が広くなり、学生とのやり取りや私語・居眠りの注意がしにくくなってしまったと感じた。今回は広く使えるようにという配慮で比較的 student 同士のスペースに余裕を持たせたが、できるだけ前方に詰めさせる形で席を指定した方が教員にとっても学生にとっても良かったかもしれない。また、授業外の学習時間が短かったため、予習や復習の課題を設けることによって学習時間の確保の必要性を感じた。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 馬越 かよ子 **職名** : 教授 **所属** : 全学
科目名称 : 人権と差別 **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8105ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 61名 **回答者数** : 57名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	46	11	-	-	10	40	6	-	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.04		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 3.5%	90分 程度 3.5%	60分 程度 24.6%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 35.1%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 1.8%	90分 程度 8.8%	60分 程度 24.6%	30分 程度 21.1%	ほとんど していない 43.9%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.09		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 10.5%	やや 高かった 21.1%	適切 であった 66.7%	やや 低かった -	非常に 低かった 1.8%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.09		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 21.1%	注意 していた 47.4%	ある程度 注意 していた 22.8%	あまり 注意し てい なかつ た 7.0%	全く 注意し てい なかつ た 1.8%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.09		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.84		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.14		■				

1 授業改善の工夫

多くの学生が、授業により新しい知識を得て問題意識や関心が高まり、将来に役立つとしているが、人権は小学校から既習済みのこととして心を開かない残りの学生に対して、発表やグループワーク等にさらに工夫を加えて、自らの問題として様々な人権問題について考える授業展開を図りたい。

2 アンケート結果に対する見解

具体的な経験や体験を通しての授業で人権とは何かを考えることで、人権について再認識することができた、など、身近なことから気づき、考え、様々な人権問題について関心を持ち、自分の行動について考える姿勢が育まれた授業であったことがアンケート結果に表れていると思われる。一方、自尊感情について、正しく理解できていない部分については、更なる工夫を加えた授業展開を試みたい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 小島 友紀 職名 : 非常勤 所属 : 全学
 科目名称 : 奈良とお茶 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8116 授業形態 : 演習 受講者数 : 20名 回答者数 : 19名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	18	-	1	-	2	9	-	8	-	-

評価項目	教員の自己評価	学生の評価平均		◆ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
		1	2	3	4	5		
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.63	◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上 -	90分程度 -	60分程度 5.3%	30分程度 31.6%	ほとんどしていない 63.2%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上 -	90分程度 5.3%	60分程度 -	30分程度 31.6%	ほとんどしていない 63.2%	無回答 -
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.53	◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切であった	非常に高かった 10.5%	やや高かった -	適切であった 89.5%	やや低かった -	非常に低かった -	無回答 -
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.53	◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度注意していた	注意する必要はなかった 42.1%	注意していた 31.6%	ある程度注意していた 26.3%	あまり注意していなかった -	全く注意していなかった -	無回答 -
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.47	◆				
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.58	◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.53	◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中島 由紀子 **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : 奈良とお茶 **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8116 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 20名 **回答者数** : 19名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	18	-	1	-	2	9	-	8	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.63		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 5.3%	30分 程度 31.6%	ほとんど していない 63.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 5.3%	60分 程度 -	30分 程度 31.6%	ほとんど していない 63.2%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.53		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 10.5%	やや 高かった -	適切 であった 89.5%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.53		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 42.1%	注意 していた 31.6%	ある程度 注意 していた 26.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.47		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.58		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.53		■ ◆				

1 授業改善の工夫

本年度の生徒は総じて授業に対する関心・意欲・態度が良好であった事もあり、授業の進行がし易かった。奈良とお茶の授業を始めて四年目。生徒が座学によって吸収できている事が少なく、授業の改善としてお茶作り体験等、体験による学習にシフトしてきた。本年度から茶道を小島先生に担当して頂く事となり、茶道の授業にいたってはテキストに頼らず見て聞いて覚えるといった古来の学習方法も取り入れたが、生徒の吸収率が飛躍的に上がる結果となった。

2 アンケート結果に対する見解

生徒自身も授業内容を吸収できている自覚があることが見てとれる。この授業のレベルは適切であったと答えた者が89.5%、授業のレベルが高かったと答えた者が10.5%、低かったと答えた者0%、教員の説明の仕方がわかりやすかったと答えた者が94.8%、理解度を考慮して授業を進めていたと感じた者が94.7%と、授業のレベルが簡単すぎたわけではなく殆どの生徒が授業内容を理解できている。さらに総合評価の2点は全員が意欲的な回答である事に、私は喜びを感じる。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 坊 安恵
 職名 : 講師 所属 : 全学
 科目名称 : 奈良の食と文化
 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8117 授業形態 : 演習 受講者数 : 34名 回答者数 : 31名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	31	-	-	-	11	5	-	14	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.10		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 6.5%	60分 程度 9.7%	30分 程度 6.5%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 3.2%	90分 程度 3.2%	60分 程度 9.7%	30分 程度 12.9%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.23		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 9.7%	やや 高かった 19.4%	適切 であった 71.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.45		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 35.5%	注意 していた 32.3%	ある程度 注意 していた 22.6%	あまり 注意して いなかった 6.5%	全く 注意して いなかった	無回答	3.2%
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.19		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.03		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 浅野 友子 **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : フランス語 I **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8330 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 11名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	11	-	-	-	-	4	-	7	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.00		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 9.1%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 18.2%	ほとんど していない 72.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 9.1%	90分 程度 9.1%	60分 程度 -	30分 程度 9.1%	ほとんど していない 72.7%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.82		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 54.5%	やや 高かった 18.2%	適切 であった 27.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.45		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 72.7%	注意 していた 18.2%	ある程度 注意 していた 9.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.45		■				
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.64		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.00		■				

1 授業改善の工夫

大方の学生にとっては、まとまったフランス語に接する最初の機会となるので、良い教科書を選ぶことが大切である。文法の説明が過重ではなく、例文が適切で、できれば自学自習の可能な教科書が望ましい。その上で、学生の興味・関心を見ながら独自に課題を用意し、自分の思うことをフランス語で表現する機会を提供できるように努めている。課題は授業時間内に完結することとし、丁寧に添削した上で次の回に返却するようにしている。

2 アンケート結果に対する見解

今年度のアンケートは、少人数クラスの良い点が表われた結果であると思う。学生一人一人と対話しながら授業を進めていくことができた結果、誰もが疎外感を持つことなく、教員による説明が好評価を得ることができた。自由記述については、練習問題をもっと増やし、説明をもっと詳しくしてほしいというとても前向きな意見で、独自に用意する課題のさらなる充実を工夫していきたい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 水野 尚美 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 医療的ケアⅡ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1575 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.00		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 22.2%	60分 程度 22.2%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 22.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 22.2%	60分 程度 22.2%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 22.2%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.44		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった 44.4%	適切 であった 22.2%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.33		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 55.6%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意し てい なかつ た -	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.89		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.11		■ ◆				

1 授業改善の工夫

医療的ケアⅠの理解の上に、喀痰吸引及び経管栄養について、医療職との連携のもとで、安全・適切に実施できるように、必要な知識技術を修得する。知識の確認後、喀痰吸引についての知識にもとづき、シミュレーターを用いて一人で喀痰吸引ができるように演習を行う。

2 アンケート結果に対する見解

昨年度までと同様、演習を伴わない限り理解しがたい内容の教科のため、以前よりも映像資料を多く取り入れて行った。そのことが、④の結果につながったと思われる。しかし、学習範囲が広く、専門的にも深く学習することを求めるため、個々人の理解を深めるための方策が取れず、⑧の結果につながったと考える。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 森永 夕美 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護過程 I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1405 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 22名 **回答者数** : 21名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	21	-	-	-	21	-	-	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.14		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 4.8%	60分 程度 4.8%	30分 程度 9.5%	ほとんど していない 81.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.8%	90分 程度 -	60分 程度 9.5%	30分 程度 19.0%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.48		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 9.5%	やや 高かった 28.6%	適切 であった 61.9%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.29		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 28.6%	注意 していた 52.4%	ある程度 注意 していた 19.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.10		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.24		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.52		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 水野 尚美 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護過程Ⅲ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1415 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.11		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.22		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.33		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.00		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.22		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.44		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 森永 夕美 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護過程Ⅲ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1415 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.11		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 33.3%	60分 程度 -	30分 程度 44.4%	ほとんど していない 22.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 44.4%	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 22.2%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.22		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 22.2%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 44.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.33		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 55.6%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.00		■				
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.22		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.44		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 武田 千幸 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護概論 I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1205 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 22名 **回答者数** : 19名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	19	-	-	-	18	-	-	-	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.11		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 5.3%	90分 程度 -	60分 程度 10.5%	30分 程度 10.5%	ほとんど していない 73.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 5.3%	60分 程度 5.3%	30分 程度 42.1%	ほとんど していない 47.4%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.26		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 15.8%	やや 高かった 15.8%	適切 であった 68.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.42		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 42.1%	注意 していた 42.1%	ある程度 注意 していた 15.8%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.47		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.47		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.63		■ ◆				

1 授業改善の工夫

介護概論 I は1回生前期の科目であり、介護を学ぶ入り口となる授業である。「介護とは」という大きなテーマを学生に伝え、初めは文献を用いて調べるよう課題を出している。一般に言われている「介護とは」何かを知った上で、自分自身でも考え、クラス内で様々な意見に触れながら視野を広げられるようにグループワークを多く活用している。2年間の学習や実習を通して自らの介護観を確立できるよう、その基礎を築くための授業と捉え、授業を行っている。

2 アンケート結果に対する見解

事前勉強については、求める回数が少なかったため、自ら何かを行うことが少なかったのだと考える。ほとんど事前勉強がなくとも授業が理解できると学生は捉えたようであるため、事前勉強の必要性、復習の必要性、また普段から介護への関心を高めるための学習の必要性をわかりやすく伝えていく必要がある。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 東 孝至 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護総合演習 I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1450 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 22名 **回答者数** : 20名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	20	-	-	-	20	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.05		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 5.0%	90分 程度 5.0%	60分 程度 20.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 5.0%	90分 程度 5.0%	60分 程度 25.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 45.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.50		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	非常に 高かった	非常に 高かった 15.0%	やや 高かった 30.0%	適切 であった 50.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 5.0%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.20		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 25.0%	注意 していた 65.0%	ある程度 注意 していた 10.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.30		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.40		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.70		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 森永 夕美 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護総合演習 I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1450 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 22名 **回答者数** : 20名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	20	-	-	-	20	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.05		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 5.0%	90分 程度 5.0%	60分 程度 20.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 5.0%	90分 程度 5.0%	60分 程度 25.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 45.0%	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.50		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 15.0%	やや 高かった 30.0%	適切 であった 50.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	5.0%
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.20		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 25.0%	注意 していた 65.0%	ある程度 注意 していた 10.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.30		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.40		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.70		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 武田 千幸 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護総合演習Ⅲ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1461 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.11		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 33.3%	90分 程度 -	60分 程度 22.2%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 11.1%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 33.3%	90分 程度 11.1%	60分 程度 22.2%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 11.1%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.22		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった 44.4%	適切 であった 22.2%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.11		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 44.4%	注意 していた 44.4%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.89		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.33		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 水野 尚美 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護総合演習Ⅲ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1461 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.11		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.22		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.11		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.89		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.33		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中野 正英 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護予防 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1225 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.22		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.33		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.1%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.56		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 77.8%	注意 していた 11.1%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった 11.1%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.33		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.22		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.67		■				

1 授業改善の工夫

講義形式の授業であるが、介護予防現場で求められる運動・体操や体力評価法などの実習も取り入れたことで学生の興味や理解が深まっていたように感じた。今後も介護保険の制度改革に対応して現場の状況や事業展開に対応できるように授業をすすめていく。

2 アンケート結果に対する見解

授業は毎回視聴覚教材を使用して進めたので理解しやすかったと考える。また全員が理解できるように進めたが社会人が半数いたこともあり、授業レベルに差が生じていた。毎回終了時に学習内容を「授業記録カード」に記入提出させて理解度を確認し、次回返却する時に復習や追加説明をしたことが、授業の進め方の評価に現れていたと考える。総合評価、選択設問評価および自由記述からも現場で役に立つ授業を提供できたと考える。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 須谷 和子 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 家事支援の技法Ⅲ・調理 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1340 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
		1	2	3	4	5		
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.22	■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 - 90分 程度 -	60分 程度 33.3%	30分 程度 11.1%	ほとんど していない 55.6%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 22.2%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 33.3%	無回答 -
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.56	■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった 44.4%	適切 であった 22.2%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.56	■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 100.0%	注意 していた -	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.78	■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.56	■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.78	■				

1 授業改善の工夫

介護福祉士として仕事をする際、実際に最初から調理をする場面は数少ないと思う。しかし、ユニット形式の施設ではご飯と汁物は温めてフロアごとの提供であったり、在宅支援では食材の買い物を頼まれたり、調理の手伝いなど求められたりする場面がある。利用者の方と一緒に調理をする場合もあるため基礎的な調理や料理が完成できるように授業内容を組み立てた。和食、洋食、中華とまんべんなく料理構成を考え、軟飯、刻み食、減塩など利用者の方の視点に立った内容も入れながら授業を行った。

2 アンケート結果に対する見解

履修者が9名と少なく、2グループ構成にして授業を行った。そのため実習中も個別に班を回り、アドバイスしながら一緒に実習をすることができた。普段から料理に興味のある学生とそうでない学生でかなり差があり、どこを基準にして説明をすべきか悩むところであるが、班員同志で教えあうことも大切であると考えている。分配されている食材の確認をしながら、レシピに記入している切り方も班ごとに巡回して確認しながら実習をするように心がけた。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 前川 良文 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : グリーンプランニング I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1610 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 19名 **回答者数** : 17名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	17	-	-	-	17	-	-	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.00		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分以上 -	90分程度 5.9%	60分程度 5.9%	30分程度 17.6%	ほとんど していない 70.6%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分以上 5.9%	90分程度 -	60分程度 11.8%	30分程度 35.3%	ほとんど していない 47.1%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.00		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 17.6%	やや 高かった 29.4%	適切 であった 47.1%	やや 低かった 5.9%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.71		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 23.5%	注意 していた 47.1%	ある程度 注意 していた 29.4%	あまり 注意し てい なかつ た -	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.06		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.06		■				

1 授業改善の工夫

福祉と園芸を学び、人々に対する効果など素晴らしい魅力と草花や野菜など、植物の栽培管理をとおして多くの人々が心の安らぎや健康、生きがいを感じる園芸の特質を人々の生活の質を高める為の実習等を行い、障がい者や高齢者などの介護やリハビリのために積極的に活用する園芸療法や園芸福祉を具体的に学ぶとともに、福祉社会のニーズに応える産業人を育成し、農園芸分野における障がい者就労支援についても知識と理解を得る。

2 アンケート結果に対する見解

受講態度については雰囲気づくりについては良かったが事前、事後のレッスンを出来ていない課題や研究に取り組む仕組みを取り入れたいと思う。事業内容や進め方については理解度チェックを行って進めたので良かったと思う。総合評価を見ても受講意欲も高く次年度に繋げ高い評価を得る努力を続けていきたい。このアンケート結果を踏まえ農園芸と福祉を通じて人間教育や信頼教育を目指し講義や実習・ワークショップを行い、植物を育てるプロセスの中で命を育む難しさ、優しさ、喜びなどを感じる感性豊かな人材、そして相手を尊敬、信頼し社会人としての基本的マナーや身構え、心構えなどを持った人材、又コミュニケーション力を身につけ働くことの「思い」(ベクトルやイメージ、そして意味)を持って社会で貢献できる人材育成を行いたい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 社会調査法 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1700 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 3名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	3	-	-	1	-	1	1	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.00		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.33		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	非常に 高かった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	2.67		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.00		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.00		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 森永 夕美 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 社会福祉概論 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1115 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 26名 **回答者数** : 21名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	21	-	-	-	20	-	1	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.95		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 4.8%	60分 程度 9.5%	30分 程度 19.0%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.8%	90分 程度 -	60分 程度 14.3%	30分 程度 19.0%	ほとんど していない 61.9%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.48		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 14.3%	やや 高かった 28.6%	適切 であった 57.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.95		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 19.0%	注意 していた 52.4%	ある程度 注意 していた 28.6%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.05		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.29		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 梓川 一 職名 : 准教授 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 障害の理解 I 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
 授業コード : 1525 授業形態 : 講義 受講者数 : 35名 回答者数 : 32名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	20	12	-	-	31	-	-	1	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.90		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 3.1%	60分 程度 15.6%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない 68.8%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 15.6%	30分 程度 31.3%	ほとんど していない 53.1%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.91		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 12.5%	やや 高かった 31.3%	適切 であった 50.0%	やや 低かった 3.1%	非常に 低かった 3.1%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.94		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 12.5%	注意 していた 53.1%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった 9.4%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.75		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.91		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.19		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 東 孝至 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活支援技術 I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1305a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 22名 **回答者数** : 19名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	19	-	-	-	18	-	-	-	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
		1	2	3	4	5		
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.95	■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 90分程度 -	60分程度 30分程度 31.6%	30分程度 26.3%	ほとんど していない 36.8%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 90分程度 -	60分程度 30分程度 42.1%	30分程度 36.8%	ほとんど していない 15.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.37	■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 21.1%	やや 高かった 21.1%	適切 であった 57.9%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.42	■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 15.8%	注意 していた 68.4%	ある程度 注意 していた 15.8%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.37	■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.63	■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.68	■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 武田 千幸 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活支援技術 I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1305a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 22名 **回答者数** : 19名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	19	-	-	-	18	-	-	-	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.95		■ ◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 5.3%	60分 程度 31.6%	30分 程度 26.3%	ほとんど していない 36.8%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 5.3%	60分 程度 42.1%	30分 程度 36.8%	ほとんど していない 15.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.37		■ ◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 21.1%	やや 高かった 21.1%	適切 であった 57.9%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.42		■ ◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 15.8%	注意 していた 68.4%	ある程度 注意 していた 15.8%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.37		■ ◇				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.63		■ ◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.68		■ ◇				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 武田 千幸 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活支援技術Ⅲ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1315 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.22		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 44.4%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 22.2%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 33.3%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.56		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 55.6%	適切 であった 44.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.56		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 22.2%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.22		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.22		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.78		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 水野 尚美 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活支援技術Ⅲ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1315 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.22		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.56		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.56		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.22		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.22		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.78		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 東 孝至 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活と未来 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1630 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 74名 **回答者数** : 67名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	66	-	1	-	20	41	6	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.96		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 1.5%	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.82		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.9%	やや 高かった 13.4%	適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.72		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	あまり 注意して いなかった	注意する 必要は なかった 10.4%	注意 していた 47.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.0%	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.75		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.60		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.58		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 池内 ますみ **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活と未来 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1630 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 74名 **回答者数** : 67名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	66	-	1	-	20	41	6	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.96		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答 -	89.6%
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 1.5%	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答 -	89.6%
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.82		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.9%	やや 高かった 13.4%	適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.72		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 10.4%	注意 していた 47.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.0%	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.75		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.60		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.58		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 武田 千幸 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活と未来 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1630 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 74名 **回答者数** : 67名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	66	-	1	-	20	41	6	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.96		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答 -	89.6%
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 1.5%	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答 -	89.6%
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	3	3.82		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.9%	やや 高かった 13.4%	適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.72		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 10.4%	注意 していた 47.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.0%	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	3.75		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.60		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.58		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 戸田 信聡 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活と未来 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1630 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 74名 **回答者数** : 67名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	66	-	1	-	20	41	6	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.96		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答 -	89.6%
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 1.5%	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答 -	89.6%
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.82		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.9%	やや 高かった 13.4%	適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答 -	
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.72		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 10.4%	注意 していた 47.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.0%	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.75		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.60		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.58		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 野間 智子 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活と未来 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1630 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 74名 **回答者数** : 67名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	66	-	1	-	20	41	6	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.96		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 1.5%	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.82		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.9%	やや 高かった 13.4%	適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.72		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 10.4%	注意 していた 47.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.0%	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.75		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.60		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.58		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 坊 安恵 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活と未来 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1630 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 74名 **回答者数** : 67名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	66	-	1	-	20	41	6	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.96	■					
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 - 90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答	-	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 1.5%	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.82	■					
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.9%	やや 高かった 13.4%	適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.72	■					
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 10.4%	注意 していた 47.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.0%	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.75	■					
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.60	■					
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	2	3.58	■					

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 森永 夕美 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活と未来 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1630 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 74名 **回答者数** : 67名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	66	-	1	-	20	41	6	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.96	■					
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 - 90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答	-	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 1.5%	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答	-
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.82	■					
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.9%	やや 高かった 13.4%	適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答	-
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.72	■					
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 10.4%	注意 していた 47.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.0%	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.75	■					
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.60	■					
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.58	■					

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 水野 尚美 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活と未来 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1630 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 74名 **回答者数** : 67名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	66	-	1	-	20	41	6	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.96		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答 -	89.6%
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 1.5%	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.0%	30分 程度 1.5%	ほとんど していない	無回答 -	89.6%
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.82		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.9%	やや 高かった 13.4%	適切 であった 68.7%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった 1.5%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.72		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 10.4%	注意 していた 47.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.0%	全く 注意して いなかった 1.5%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.75		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.60		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.58		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 森永 夕美 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活レクリエーション **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1220 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 31名 **回答者数** : 27名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	19	8	-	-	27	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.04		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 7.4%	90分 程度 -	60分 程度 18.5%	30分 程度 25.9%	ほとんど していない 48.1%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 3.7%	90分 程度 -	60分 程度 25.9%	30分 程度 29.6%	ほとんど していない 40.7%	無回答	-
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.41		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.1%	やや 高かった 18.5%	適切 であった 70.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.33		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 11.1%	注意 していた 77.8%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意し てい なかつ た	全く 注意し てい なかつ た	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.37		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.22		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.59		■				

1 授業改善の工夫

今年度は1回生と2回生とが合同で授業を行ったので、履修者が27名と多く、そのため互いにレクリエーションを企画し、模擬体験をするなどの機会を4回実施することができた。また、自分たちが実践しているところを録画し、自分の癖や態度を客観的に見て修正点を理解できるようにした。

2 アンケート結果に対する見解

15回の授業回数の中でレクリエーションを実施・体験するには限界がある。また、講義科目でもあり、レクリエーションの理論的部分も学んで欲しい。例年感想が出るが、学内での模擬体験と実際の現場の利用者では当然動きも違うのは当然である。同じレクリエーション内容でも相手の能力に合わせた工夫や応用をするように伝えている。それができるようになるためには介護実習だけでなくボランティアなどで現場を数多く体験して欲しい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 武田 卓也 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 相談援助の基盤と専門職 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1705 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 19名 **回答者数** : 16名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	16	-	-	-	10	-	-	5	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.13		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 6.3%	90分 程度 6.3%	60分 程度 12.5%	30分 程度 43.8%	ほとんど していない 31.3%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 18.8%	30分 程度 43.8%	ほとんど していない 37.5%	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.56		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 6.3%	やや 高かった 37.5%	適切 であった 56.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.50		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 37.5%	注意 していた 25.0%	ある程度 注意 していた 37.5%	あまり 注意し てい なかった -	全く 注意し てい なかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.44		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	3	4.13		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.13		■				

1 授業改善の工夫

福祉現場の実際を伝えるために、経験してきた話を盛り込むこと、グループワークを活用した学びの提供等を実施したが、今回は視覚的な教材であるDVD等を十分活用できなかった。今後は口頭だけでなく、視覚的に伝え、理解できるように授業を工夫していきたい。また、学生とのディスカッションの時間を増やし、学生と一緒に考え、福祉の視点を広げる授業展開をしていきたい。

2 アンケート結果に対する見解

授業を理解する上で困ったことに「ある」「ある程度思う」という選択肢に回答をしている学生がいる点について、さらにオフィスアワー等を活用し、学生が意見を伝えられる環境と授業に対する困りごとを抽出していきたい。また、授業前後の自宅学習等について、意識しながら課題等、学ぶ環境を整えたつもりであったが、十分に学生が自宅学習できる機会になっていなかった。今後は学生の自主的な学びができるように努めていきたい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 尾崎 剛志 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 低所得者に対する支援と生活保護制度 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1730 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 7名 **回答者数** : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	5	-	-	-	-	-	-	5	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.20		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 20.0%	60分 程度 -	30分 程度 40.0%	ほとんど して いない 40.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 20.0%	60分 程度 20.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど して いない 40.0%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.20		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 60.0%	適切 であった 40.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.40		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 80.0%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった 20.0%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.20		■				
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	4.20		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.80		■				

1 授業改善の工夫

授業改善としては、あまり内容を詰め込まないようにすることと、授業の冒頭に学生が社会福祉全体に興味を持つことができるよう、福祉新聞の記事についていくつか取り上げて説明をしました。その結果として、授業で網羅すべき内容をかなり減らして授業を進めることとなり、国家試験を受験するにはかなり各自での勉強をしなければならない状況にあると考えます。

2 アンケート結果に対する見解

どの項目についてもこれまでの結果よりも高い評価をいただきました。ただ授業内容が良かったというよりは、興味関心を引くために横道にそれながら進めたので、内容をあまり深く突っ込むのではなく、簡単な内容についての講義内容になったことが要因で無いかと考えます。理解度の確認が不十分と言う数値になっているので、理解度を確認しながら進めるようにしたいと考えます。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 東 孝至 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 認知症の理解Ⅱ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1520 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.22		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.33		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	非常に 高かった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.33		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意し てい なかつた	全く 注意し てい なかつた	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.56		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.33		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.56		■				

1 授業改善の工夫

生活福祉コースの2回生の授業であり、1回生の「認知症の理解Ⅰ」に続くものであるため、始めは復習を行った。前授業との差別化を図るために教科書での知識を詰め込むようなスタイルをやめて出来るだけ体系的に、感覚器から学習できることを想定した。そのため、DVDやYOUTUBEも含めた映像での学習、認知症のケアとして実際にシミュレーションを行う、最期の授業ではロールプレイング法を用いてグループによる学習効果を図った。

2 アンケート結果に対する見解

授業を行っていても感じた点だが、体現性やグルーピングなどによって「眠れない授業」だったためか、比較的良い結果であったと感じる。また、2回生のⅢ実習の前後でもあり、実習のフィードバックにも利用できたことは学生にとっても良い反応であったと感じる。次年度は、更に認知症者とのかわり、無理であれば認知症の方と家族の会といったSHGとの交流ももてれば更なる学習効果が期待できる。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 野間 智子 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 栄養指導論 I **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2200 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 46名 **回答者数** : 43名

回答者 内訳	学 年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	43	-	-	-	-	43	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.16		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 2.3%	60分 程度 9.3%	30分 程度 25.6%	ほとんど していない 62.8%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 2.3%	60分 程度 11.6%	30分 程度 25.6%	ほとんど していない 60.5%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.26		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 4.7%	やや 高かった 32.6%	適切 であった 62.8%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.93		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 14.0%	注意 していた 46.5%	ある程度 注意 していた 37.2%	あまり 注意して いなかった 2.3%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.91		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.02		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.23		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 野間 智子 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 栄養指導論実習Ⅱ **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2215 **授業形態** : 実習 **受講者数** : 32名 **回答者数** : 32名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	32	-	-	-	32	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.19		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 6.3%	90分 程度 9.4%	60分 程度 12.5%	30分 程度 18.8%	ほとんど していない 53.1%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 12.5%	90分 程度 15.6%	60分 程度 6.3%	30分 程度 18.8%	ほとんど していない 46.9%	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.41		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 15.6%	やや 高かった 28.1%	適切 であった 56.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.19		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 18.8%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 28.1%	あまり 注意して いなかった 3.1%	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.09		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.16		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.34		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中村 妙子 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : カラーコーディネート論 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2430 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 43名 **回答者数** : 41名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	38	1	1	1	-	33	5	1	-	2

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.78		■ ◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 2.4%	60分 程度 9.8%	30分 程度 2.4%	ほとんど していない	85.4%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 4.9%	60分 程度 14.6%	30分 程度 17.1%	ほとんど していない	63.4%	無回答 -
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.83		■ ◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 17.1%	やや 高かった 29.3%	適切 であった 53.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.71		■ ◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 4.9%	注意 していた 63.4%	ある程度 注意 していた 31.7%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.93		■ ◇				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.88		■ ◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.95		■ ◇				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 三浦 さつき **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 基礎栄養学 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2170 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 45名 **回答者数** : 42名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	41	-	-	1	-	41	-	-	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
		1	2	3	4	5		
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.98	■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 - 90分 程度 4.8%	60分 程度 2.4%	30分 程度 28.6%	ほとんど していない 64.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.8%	90分 程度 14.3%	60分 程度 11.9%	30分 程度 23.8%	ほとんど していない 45.2%	無回答 -
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.26	■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 11.9%	やや 高かった 52.4%	適切 であった 35.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.00	■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 4.8%	注意 していた 59.5%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意し てい なかつ た 2.4%	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 -
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.95	■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.02	■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.37	■				

1 授業改善の工夫

栄養士を目指して入学した食物栄養コースの1回生が入学してすぐの前期に学ぶ専門科目であり、穴埋め式のプリントを配布してスライドを活用しながら、授業を進めている。説明をよく聞いて穴埋め以外のところでもメモを取りながら聞いてほしいことを授業の冒頭で伝えているが、穴埋めのところを書くだけにとどまる学生が多い。説明を聞きながら必要な部分を選別してメモやノートをとれるような習慣が身につけられるよう、常に働きかける必要があると思った。

2 アンケート結果に対する見解

自由記述において、「プリントの穴埋め部分が小さい」「書く所が難しい」「早口で聞きにくい」などの意見が出ていたので、プリントのサイズや説明の話し方などについて、改善できるようにしたい。この科目の授業アンケートで初めて、「グループディスカッションの時間を加えてほしい」という意見がみられ、日頃の自分自身の食事についてなど意見のやり取りをする時間を今後設けていきたいと思った。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 岩橋 明子 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 公衆栄養学 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2220 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 34名 **回答者数** : 30名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	1	29	-	-	-	30	-	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.90		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.43		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.23		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意し てい なかつた	全く 注意し てい なかつた	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.93		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.03		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.24		■				

1 授業改善の工夫

座席指定制としたことで、私語はほぼなく注意が必要なことはなかった。前方の席に座らせることでスライドも見やすく、声も届きやすくなったと考えられる。しかし、1限ということもあり遅刻者や欠席者が見られ、対象者に対する指導が十分でなくなかなか改善が見られなかった。授業の進度が少し早いとのことだが、栄養士資格を取得するために必要な知識を学んでもらうためには、あまりゆっくり進めるわけにもいかず、時間が不足する分については、予習・復習の課題で確保を図りたい。

2 アンケート結果に対する見解

栄養士に必要な知識として栄養士実力認定試験の問題が解けるレベルを目指してシラバスを作成している。授業の進度が少し早いとのことであったが、必要な内容を省略することもできず悩ましい。学生の理解度に配慮してやや難易度を落としたりゆっくりすすめるようにする。予習・復習の課題は1時間程度を目途に設定しているが、30分程度と回答した学生が多く、課題の提出内容に個人差が大きくまじめに取り組めていない者がいることから、厳しく評価する旨を伝え、時間をかけて取り組んでもらえるようにしたい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 池内 ますみ **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 食品衛生学 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2160 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 33名 **回答者数** : 30名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	30	-	-	-	28	1	-	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.83		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 3.3%	60分 程度 3.3%	30分 程度 13.3%	ほとんど していない	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 3.3%	60分 程度 6.7%	30分 程度 23.3%	ほとんど していない	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.60		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 3.3%	やや 高かった 30.0%	適切 であった 66.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.50		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 26.7%	注意 していた 40.0%	ある程度 注意 していた 30.0%	あまり 注意して いなかった 3.3%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.27		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.13		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.47		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 池内 ますみ **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 食品衛生学実習 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2165 **授業形態** : 実習 **受講者数** : 32名 **回答者数** : 27名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	26	-	1	-	27	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.26		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 7.4%	90分 程度 11.1%	60分 程度 18.5%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 40.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 18.5%	90分 程度 25.9%	60分 程度 29.6%	30分 程度 -	ほとんど していない 25.9%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.59		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 14.8%	やや 高かった 51.9%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.41		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 48.1%	ある程度 注意 していた 18.5%	あまり 注意し てい なかつ た -	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.33		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.15		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.00		■ ◆				

1 授業改善の工夫

同時期開講の「食品衛生学」と関連付けながら、実験で体験することで内容を理解し定着させることができるよう努めている。将来栄養士として働いたときに、調理現場で調理員に衛生指導ができるよう、一人ずつ検査ができるようにしている。今年レポートの添削指導を早めに行ったが、レポートを期日までに提出しない学生が数名いた。レポートを書くことで、実習で行った内容を整理し、理解を深めることができるようにさらに指導する必要がある。

2 アンケート結果に対する見解

実験は日常生活ではなじみがないため、調理実習などと比べると学生の苦手意識が強い。学びの内容が実際の栄養士業務と関連付けられるようにする必要がある。実習後のレポート課題が毎回あるため、事前・事後の学習時間は講義科目と比べて長くなっている。班分けの際にグループワークがスムーズに進められるよう組み合わせに気を使っている。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 坊 安恵 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 食品衛生学実習 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2165 **授業形態** : 実習 **受講者数** : 32名 **回答者数** : 27名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	26	-	1	-	27	-	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.26		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 7.4%	90分 程度 11.1%	60分 程度 18.5%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 40.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 18.5%	90分 程度 25.9%	60分 程度 29.6%	30分 程度 -	ほとんど していない 25.9%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.59		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 14.8%	やや 高かった 51.9%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.41		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 48.1%	ある程度 注意 していた 18.5%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.33		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.15		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.00		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 池内 ますみ **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 食品科学 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2145 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 43名 **回答者数** : 40名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	40	-	-	-	-	40	-	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.98		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 7.5%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 2.5%	90分 程度 -	60分 程度 17.5%	30分 程度 15.0%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.28		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 12.5%	やや 高かった 42.5%	適切 であった 45.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.05		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 17.5%	注意 していた 37.5%	ある程度 注意 していた 35.0%	あまり 注意して いなかった 10.0%	全く 注意して いなかった	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.92		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.55		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 坊 安恵 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 食品学実験 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2155ab **授業形態** : 実習 **受講者数** : 43名 **回答者数** : 42名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	41	1	-	-	-	42	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.21		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 19.0%	90分 程度 4.8%	60分 程度 7.1%	30分 程度 19.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 54.8%	90分 程度 7.1%	60分 程度 9.5%	30分 程度 9.5%	ほとんど していない 19.0%	無回答	-
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.10		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 31.0%	やや 高かった 45.2%	適切 であった 23.8%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.76		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 11.9%	注意 していた 61.9%	ある程度 注意 していた 26.2%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.02		■				
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.83		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.76		■				

1 授業改善の工夫

授業における教員の説明の仕方がわかりやすかったかという質問では、「そう思う」が11.9%、「ある程度思う」61.9%、「どちらとも言えない」16.7%であった。また、教員は学生の理解度を配慮しながら授業を進めていかという質問では、「そう思う」が21.4%、「ある程度思う」61.9%、「どちらとも言えない」14.3%であった。本講義平均は前者が3.76、後者が4.02であり、全体平均では、前者が4.27、後者が4.21であった。このことより、説明の仕方に関して、もう少し改善の余地があると考えられる。本授業から初めて授業を行ったことを考えると健闘したと思うが、本授業で学生が説明の再要求を行った部分に関しては、次年度、改善すべき点として把握しておく必要がある。一方で、化学的知識の差がある学生たちを相手にどこまで全体で説明し、個別で説明するかも併せて検討すべきであると考えた。

2 アンケート結果に対する見解

授業のレベルが適切であったかという質問に対して、「非常に高かった」が31.0%、「やや高かった」が45.2%、「適当であった」が23.8%の回答があった。本講義開始時に、高校で化学を履修していたかを学生に尋ねたところ、5人未満であったことを記憶しており、本講義の履修学生は化学に対する知識量の差があった。そのため、授業のレベルに関して、適当であったと回答する学生が少なく、反対に高かったと感じる学生が多かったと考えられる。一方で、授業後の勉強や課題に取り組む時間が80.7分であり、全体平均29.2時間と比べると50分程度長いことがわかった。これは、実験の後に課しているレポート作成の時間であり、妥当な取り組み時間だと考える。学生が作成したレポートチェックより、実験を行う毎に、化学的に思考し、報告する力がついてきていることが確認できている。また、授業を受けて新しい知識や技術が得られ、問題意識や関心が高くなったかという問いでは、「そう思う」が16.7%、「ある程度思う」が50.0%となっており、実験ならびに、実験後に行うレポート作成は学生の成長に寄与しているものと考えられる。ただ、一部に「難しい」「あまり理解していない」との声もあり、化学に対して苦手意識のある学生へフォローについて検討する余地はあると考えられた。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 野間 智子 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 食事療法実習 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2195 **授業形態** : 実習 **受講者数** : 33名 **回答者数** : 30名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	30	-	-	-	29	-	-	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.27		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 3.3%	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 30.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 3.3%	90分 程度 3.3%	60分 程度 26.7%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 26.7%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.20		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 3.3%	やや 高かった 20.0%	適切 であった 76.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.87		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 20.0%	注意 していた 26.7%	ある程度 注意 していた 50.0%	あまり 注意して いなかった 3.3%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.90		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.17		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.50		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 毛受 真由美 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 人体の構造と機能 I **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2115 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 45名 **回答者数** : 40名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	40	-	-	-	-	40	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.15		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 5.0%	60分 程度 10.0%	30分 程度 17.5%	ほとんど していない 67.5%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 2.5%	60分 程度 20.0%	30分 程度 22.5%	ほとんど していない 55.0%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.40		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 15.0%	やや 高かった 35.0%	適切 であった 45.0%	やや 低かった 5.0%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.21		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 10.0%	注意 していた 65.0%	ある程度 注意 していた 22.5%	あまり 注意して いなかった 2.5%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.40		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.08		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.15		■				

1 授業改善の工夫

専門的な知識をインプットするだけでなく、授業中にアウトプットする機会を設けて、知識の定着を図った。

2 アンケート結果に対する見解

分かりやすい説明を心がけたつもりであるが、一部の学生に難解と感じさせてしまった。映像等もさらに利用して、より分かりやすい授業を目指したい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 野間 智子 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : ゼミナール I (医療福祉) **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 3911a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	10	-	-	-	10	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.50		■■■■■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.10		■■■■■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.60		■■■■■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意し てい なかった	全く 注意し てい なかった	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.60		■■■■■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	5	4.40		■■■■■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.50		■■■■■				

1 授業改善の工夫

この科目は1回生後期から2回生前期にかけての通年科目である。そのため、本学に赴任した2017年4月の2回生の前期から担当した。授業開始当初は、福祉フェスタが終了していたこともあり、学生たちはフィールドの目標を決めかね、やる気のなさが垣間見られた。そこで、学外実習にもつなげられるように、授業目標として「高齢者への健康寿命の延伸」を大目標に掲げた。具体的に取り組む中期目標としては、「和楽園への出前食育体験」を計画し、学生に企画から積極的に関与させるようし、学生自身の意識を高める工夫を行った。

2 アンケート結果に対する見解

「和楽園への出前食育体験」を機に、学生たちも積極的に授業に参加し、休みがちな学生も最後までフィールド学習に取り組むことができたことと評価している。その結果がアンケートにも反映され、「この授業が自分の将来に役立つと思いますか」との質問にも全員が「そう思う」あるいは「ある程度そう思う」と回答していると判断した。今年度は通年を通して、フィールドを担当することになるが、学生たちが取り組みたい内容を主に、学生たちの将来に役立つ授業展開を図っていきたい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 池内 ますみ **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : ゼミナール I (食ビジネス) **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 3911d **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	6	-	-	-	6	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.50		■ ◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない	無回答 83.3%	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 50.0%	ほとんど していない	無回答 50.0%	-
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	3	3.67		■ ◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 16.7%	適切 であった 83.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.00		■ ◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった 16.7%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.33		■ ◇				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■ ◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.33		■ ◇				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 坊 安恵 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : ゼミナール I (食ビジネス) **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 3911d **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	6	-	-	-	6	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.50		■ ◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 83.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 50.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	3	3.67		■ ◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 16.7%	適切 であった 83.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.00		■ ◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった 16.7%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.33		■ ◇				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■ ◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.33		■ ◇				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 池内 ますみ **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 調理学 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2250 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 43名 **回答者数** : 41名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	40	-	-	1	-	40	-	-	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.61		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 2.4%	60分 程度 2.4%	30分 程度 9.8%	ほとんど していない	無回答 -	85.4%
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 2.4%	60分 程度 12.2%	30分 程度 31.7%	ほとんど していない	無回答 -	53.7%
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.10		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 4.9%	やや 高かった 41.5%	適切 であった 53.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.00		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 9.8%	注意 していた 46.3%	ある程度 注意 していた 39.0%	あまり 注意して いなかった 4.9%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.78		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.07		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.64		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 坊 安恵 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : フードスペシャリスト論 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2410 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 29名 **回答者数** : 28名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	27	1	-	-	-	27	-	-	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.89		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 3.6%	90分 程度 10.7%	60分 程度 10.7%	30分 程度 21.4%	ほとんど していない 53.6%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 17.9%	90分 程度 7.1%	60分 程度 10.7%	30分 程度 28.6%	ほとんど していない 35.7%	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.18		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 7.1%	やや 高かった 32.1%	適切 であった 60.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.93		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 17.9%	注意 していた 46.4%	ある程度 注意 していた 28.6%	あまり 注意して いなかった 7.1%	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.86		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.00		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 加来 慎太郎 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : イラスト・画像処理Ⅱ **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3236 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	1	5	-	-	-	-	6	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
		1	2	3	4	5		
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.83	■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 - 90分 程度 16.7%	60分 程度 - 30分 程度 16.7%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -		
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 - 90分 程度 16.7%	60分 程度 - 30分 程度 -	ほとんど していない 83.3%	無回答 -		
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	3	3.83	■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった - やや 高かった 33.3%	適切 であった 50.0%	やや 低かった -	非常に 低かった 16.7%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.50	■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 16.7%	注意 していた 16.7%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった 33.3%	無回答 -
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.17	■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.83	■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.50	■				

1 授業改善の工夫

デザインやイラストの作業の進み方は、どうしても生徒によってバラツキがあります。それにより授業の進み方が遅くなったりしてしまうので、その差をなるべく少なく出来るよう、生徒それぞれの特性をより理解していきたいと思います。

2 アンケート結果に対する見解

生徒がデザインやイラストに興味を持ってもらえるように、楽しく行える作業内容や、資料などを用意していきたいと思ます。教える立場と生徒の目線の両方のバランスを考え、授業に活かしていきたいと思ます。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 吉村 司 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : オフィス実務演習 I **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3191 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 8名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	7	1	-	-	1	6	1	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.00		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.63		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.38		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意し てい なかった	全く 注意し てい なかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.88		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.13		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00		■				

1 授業改善の工夫

新規開講授業であり不透明部分も多かったが「ビジネス文書Ⅰ・Ⅱ」を履修済の2回生であるので、オープニングの1分間スピーチ、オリジナル講義スライド、演習、ワークショップ等お馴染みの授業展開に加え、本授業ではテキストを活用し、講義スライドにテキストの該当ページを常に表示させて参照部分を明確にした。さらに毎回の授業テーマとリンクさせた1分間スピーチで予習機会を確保し、加えて授業後レポートの提出で復習機会を担保し「予習→授業→復習」のサイクルが回るように授業展開を工夫した。

2 アンケート結果に対する見解

「授業の進め方⑧」の理解度に対する配慮が唯一全体平均を下回ったので、後期からは授業内の節目でアイコンタクトや質問を募るなどして配慮の頻度と密度を高めている。一方「受講態度②③」で予習は一昨年比で10分→30分→30分、復習0分→33.8分→30分と「1」の授業展開の改善が定着傾向にあり、後期は宿題・レポートを増やしてさらにアップを目指したい。最後に「総合評価⑩」で「この授業は自分の将来に役立つ」と全員の学生が回答しており、受講者が増加傾向にある中で少しでもこのトレンドを保っていきたい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 高橋 紀子 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : オフィスタディ **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3133 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 8名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	6	-	-	-	-	6	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.67		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 83.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.50		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった 50.0%	適切 であった 16.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	5.00		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 83.3%	注意 していた 16.7%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.17		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.33		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00		■				

1 授業改善の工夫

理解度を確認しながら進めていたつもりでしたが、個人差が大きかったのもっと丁寧に、一人一人の理解度に合わせて声かけをするべきだったと思っています。特に、留学生に対してはきめ細やかなフォローが必要だったと反省しています。社会人になるにあたっての心構え、意識付けの部分をより丁寧に時間をかけてから、実践的な内容に入る工夫を今後はしたいと思っています。

2 アンケート結果に対する見解

授業の最初にアイスブレイクを入れる日もあったのですが、毎回入れて場作りを丁寧にすればよかったと思っています。ワーク後の発表に関しては個人差が大きかったので、あまり発言したくない学生に対しては違った問いかけを工夫するべきでした。また、遅刻してくる学生に対してどこまで厳しく対応するべきか迷っていました。次回は最初にしっかりと伝えてから、一貫した態度をとるようにしたいと思います。そして、よりわかりやすく、「自分事」としてイメージできるような実践的なカリキュラムを工夫したいと思います。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 谷村 真理 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 経理実務 I **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3160 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	6	-	-	-	-	-	6	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.00		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 83.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.17		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 16.7%	やや 高かった 50.0%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.00		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意し てい なかった -	全く 注意し てい なかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.17		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.33		■				

1 授業改善の工夫

・学生の興味や理解度に合わせて、適宜練習問題を取り入れ知識の定着をはかった。また、毎回1度は発言させるようにして、自主性の育成にも配慮した。 ・既学者（商業高校出身など）とそうでない者の理解度にはどうしても差が生じるため、レベルにあわせて個別に課題を課すなど、さらにきめ細やかな配慮を行っていききたい。 ・将来どのような仕事に就いても活用できるようなベースとなる知識の習得を、サポートしていききたい。

2 アンケート結果に対する見解

・概ね、納得のいく評価であった。既学者と初心者で、理解度や達成度、満足度に差がでていたものの、総じてモチベーションが高い学生が多く、吸収力も高かった。 ・仕訳などの複式簿記の基本については、概ね理解できたと思う。テストの成績も、ばらつきはあるものの、ほぼ想像通りのものであった。 ・個々の達成度に配慮した個別指導を、さらに充実させていきたい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 上田 利博 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : ゼミナール I (ビジネスキャリア) **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3905 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.80	■					
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど して いない	無回答	-	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど して いない	無回答	-	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.00	■					
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	-	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.40	■					
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 20.0%	注意 していた 40.0%	ある程度 注意 していた 40.0%	あまり 注意し て い な か っ た	全く 注意し て い な か っ た	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.00	■					
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00	■					
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.00	■					

1 授業改善の工夫

今回の学生の授業の取り組み姿勢は予習・復習にバラつきはあったものの、参加意欲や平均的な授業の理解度は高く、自分の知識として蓄積されたと思われる。ただ、全体のアンケートから、事前・事後の勉強時間が平均より少し長く、事前課題が多かったかと思われるところがある。これらを踏まえて、今後は今年の進め方を継続するものの、事前課題等は時間に配慮した効果的な活用を実施したいと考えている。

2 アンケート結果に対する見解

この授業は3限と4限の連続で、担当教員が2名の授業であった。3限と4限で授業内容が異なったのもので、学生のアンケートへの回答は大きなバラつきはなかったのではないと思われる。毎回学生から課題に対する発表を組み込んでいたので、事前勉強時間が他の科目と比較して少し多かったと思われる。しかし、大半が事前課題に取り組んでいただけなので、授業の内容も充実し、理解度は上がったと思われる。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 戸田 信聡 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : ゼミナール I (ビジネスキャリア) **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3905 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 5名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.80		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 -	90分程度 -	60分程度 40.0%	30分程度 40.0%	ほとんど していない 20.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 -	90分程度 -	60分程度 60.0%	30分程度 -	ほとんど していない 40.0%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.00		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった -	やや 高かった 40.0%	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業の 進め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.40		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 20.0%	注意 していた 40.0%	ある程度 注意 していた 40.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.00		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.00		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 戸田 信聡 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 卒業研究 I **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3951 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 7名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コ ー ス	食物栄養 コ ー ス	ビジネス キャリ ア コ ー ス			
	-	6	-	-	-	-	6	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.17		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 83.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	2.17		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった -	適切 であった 33.3%	やや 低かった 16.7%	非常に 低かった 16.7%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	2.17		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 16.7%	ある程度 注意 していた 16.7%	あまり 注意し てい なかつ た 33.3%	全く 注意し てい なかつ た 33.3%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	2.17		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	2.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	2.17		■				

1 授業改善の工夫

卒業研究では、研究を自分ひとりで進めていくための「ビジネスの基礎知識・用語を使えること」、「自分の考えをまとめて主体的に研究を進められること」が前提となります。しかし、それができる学生は少なく、4月段階で卒業研究は困難でした。そのため、基礎知識からの説明に費やす時間が多くなりました。又、卒業研究は個別発表です。グループワークにフリーライドしてきた一部の学生が、困る場面も多かったと思います。卒業研究にしても、卒業後の進路指導にしても、時間が無いことから2回生の学生たちには、意識的に危機感を訴えたと思います。2回生の一部の人は厳しい授業と感じたかもしれませんが、4月時点で想定していたよりも研究は基礎を踏まえ、発表会に出しても恥ずかしくない内容になりつつあります。就職活動も4月時点で想定していた最悪の水準よりは、多くの学生が複数内定を取ってきていると思います。後期については特に進路の決まった学生には、リラックスして卒業研究に集中させて、少しでも思い出に残る研究発表にしてもらうように意識しています。卒業研究は他の授業と異なり、個別テーマで一人ひとり進めることには変わりはありません。しかし、自由なグループでの意見交換の時間を多くするとともに、学生の発表、スピーチを主として卒業研究を楽しんでもらえるように工夫を加えているところです。

2 アンケート結果に対する見解

「自分で考え、主体的に取り組むことを避けて楽をしたい」「基礎知識の勉強はめんどくさい」ということが伝わる内容もアンケートにはあります。しかし、安易にこの要望を受け入れることをすると、まじめで熱心に取り組んでいる学生にも悪影響を与えると考えます。依存的で基礎を軽んじていると、まず、就職活動がうまくいきません。そして、会社に入ればわかることですが、仕事は主体性を持って取り組むことや、ビジネス基礎知識を使うことが避けられません。むしろ、目的・目標をしっかり持って積極的に自分の考えの持ち、ビジネス基礎知識の勉強をするほうが、会社の仕事は楽しくなることを伝えていきたいと考えます。2回生進級段階で、最低限必要なビジネス基礎知識が不足していることと、就職活動への意識の低さに問題意識があります。能力、講義の理解度、授業をうける姿勢にもかなり個人差があります。しかし、2回生進級段階で最低限のビジネス基礎知識、基礎用語がわからない、主体的にタスクが取り組めない、キャリアへの意識が低くて就職活動の準備ができていないということが極力少なくなるよう1回生の指導にも力をいれていきたいと考えます。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中村 妙子 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : データ処理Ⅱ **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3215 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	6	-	-	-	-	6	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	3	3.33		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.17		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 50.0%	やや 高かった 50.0%	適切 であった -	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	3	4.00		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 66.7%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.67		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.83		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.50		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中村 妙子 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 文書作成 I **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3200 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.80		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 20.0%	30分 程度 -	ほとんど していない 80.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 40.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 40.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.20		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 20.0%	やや 高かった -	適切 であった 80.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	3	3.60		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 60.0%	ある程度 注意 していた 40.0%	あまり 注意し てい なかつ た -	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	3.60		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	3.60		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.20		■ ◆				

1 授業改善の工夫

Wordをすでに経験している学生と、初めての学生がおり、授業を始める前にすでに経験の差が生じている。早く正確にビジネス文書等が作成できることを1つの目標とし、そのために様々なツールを学んでいるが、タイピングが遅いとどうしてもツールを使いこなすまで行かない。ある程度の速度でタイピングができるような仕組みを構築し、足並みが揃う授業にしていきたい。

2 アンケート結果に対する見解

文書作成 I と情報処理演習 I は、同じ時間、同じ教室で開講し同じに教えているが、評価が分かれていることに驚いた。分かりやすさ、学生の理解度への配慮、問題意識や関心の高さへの評価が、特に差が見られ、考えさせられる結果であった。授業に対する取組姿勢、能力差に起因していると思われるが、これを同じような評価にするためにはどのような工夫が必要なのか考えていく。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 戸田 信聡 職名 : 講師 所属 : 生活未来科
 科目名称 : マーケティング 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3180 授業形態 : 講義 受講者数 : 7名 回答者数 : 6名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	6	-	-	-	-	6	-	-	-

評価項目	教員の自己評価	学生の評価平均		◇ 教員の自己評価						
		学生の評価平均		■ 学生の評価平均						
		1	2	3	4	5				
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.00		■					◇
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分以上 -	90分程度 -	60分程度 16.7%	30分程度 16.7%	ほとんどしていない 66.7%	無回答 -		
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分以上 -	90分程度 -	60分程度 16.7%	30分程度 -	ほとんどしていない 83.3%	無回答 -		
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	2.00		■					◇
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや高かった	非常に高かった 16.7%	やや高かった 33.3%	適切であった 16.7%	やや低かった 33.3%	非常に低かった -	無回答 -		
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	2.33		■					◇
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する必要はなかった -	注意していた -	ある程度注意していた 33.3%	あまり注意していませんでした 50.0%	全く注意していませんでした 16.7%	無回答 -		
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	2.50		■					◇
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	2.00		■					◇
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	2.50		■					◇

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 大城 弓恵 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽 I **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55304ad*be **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 8名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	7	-	-	1	-	-	-	7	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.50		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 12.5%	90分 程度 25.0%	60分 程度 12.5%	30分 程度 50.0%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 12.5%	90分 程度 25.0%	60分 程度 25.0%	30分 程度 37.5%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.13		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 12.5%	やや 高かった 37.5%	適切 であった 50.0%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.75		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 37.5%	注意 していた 62.5%	ある程度 注意 していた	あまり 注意し てい なかつ た	全く 注意し てい なかつ た	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.63		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.25		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00		■				

1 授業改善の工夫

音楽 I は個人レッスンとクラス授業で構成されている。今年からクラス授業では今後(音楽 II や保育表現)必要なこと知識として学び、個人レッスンを待っている間はML教室を使い個別に練習する時間が確保できるようになった。忙しい学生や、初心者で一人では練習方法が分からない学生にとってはこの時間がとても貴重な練習時間でもあるようで、改善の成果が出ているように思う。

2 アンケート結果に対する見解

とても好意的なアンケート結果を頂いたと思う。意欲的な学生ばかりだったことに加えて、この授業は個別レッスンなので授業の雰囲気は乱れる事無く進められた。また、個人のレベルや習熟度にあった指導が出来るので、その点もアンケートに繋がったのだと思う。音楽 I の授業の必要性を感じてくれているようではあるが、なかなか練習時間を確保することが難しい学生、または一人で練習することが出来ない学生も多いのでその点の一層のフォローが必要だと感じた。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 大西 有紀 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽 I **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55304aa•bb **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 11名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	11	-	-	-	-	-	-	11	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.09		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.64		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.64		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.64		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.64		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.91		■				

1 授業改善の工夫

個々のレベルに応じて細やかな指導をしてゆかねばならないと感じている。学生のウィークポイントを的確に見抜き、限られた時間内で充実した授業展開を心がけたい。

2 アンケート結果に対する見解

予習、復習にあてる時間が少ないと思った。限られた時間内で効率良くレッスンを進めるにはそれなりの完成度をもって授業に臨まねばならない。日々の練習法、事前・事後学習の重要性を指導してゆきたい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 宮田 眞理 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽 I **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55304ac・ce **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 11名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	11	-	-	-	-	-	-	11	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.73		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.45		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	非常に 高かった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.73		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意し てい なかつた	全く 注意し てい なかつた	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.73		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.73		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.91		■				

1 授業改善の工夫

ピアノは予習、復習ができていないとなかなか課題のクリアは難しい。少しでも予習がしやすくなるように譜読みや演奏のポイント等を的確に指導したい。時間の経過と共に少しずつ課題に取り組む姿勢にばらつきが出てくるので、常に学生が前向きに取り組めるよう気を配りたい。

2 アンケート結果に対する見解

アンケートでは課した宿題の予習・復習時間をいつも重視しているが、なかなか期待している時間には達していない。自発的にピアノ練習に取り組めるよう、授業の工夫をしたいと思う。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 山下 玲子 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽 I **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55304ab・cc **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 12名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	12	-	-	-	-	-	-	12	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 41.7%	90分 程度 8.3%	60分 程度 33.3%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない -	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 41.7%	90分 程度 8.3%	60分 程度 41.7%	30分 程度 8.3%	ほとんど していない -	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.75		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 8.3%	やや 高かった 16.7%	適切 であった 75.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.92		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 41.7%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意し てい なかった -	全く 注意し てい なかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	5.00		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.67		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.91		■ ◆				

1 授業改善の工夫

ピアノ演奏技能の向上には日々の弛まぬ練習の積み重ねが必要なので、目標を持って努力し、その成果を感じることで、ピアノを演奏することが、学生本人の喜びとなるように指導していきたい。もうワンランク上を目指す気持ちを育てていきたい。具体的には、限られたレッスン時間なので、次回の授業までの課題と練習方法を明確に示して、学生が達成感を感じつつ練習に取り組んでいけるように工夫して指導していく。

2 アンケート結果に対する見解

受講態度の項目では、全体として事前事後の練習時間を確保して努力している学生が約半数程度いることが窺えて、この結果は学生たちが力をつけていっている様子と重なる。またほとんどの学生が自分の将来を意識して授業を受け、積極的に努力していることがわかる。ピアノを弾くことが楽しく、また嬉しいと感じてくれる学生が増えていくことは、保育の現場で良い保育者となっていくことに大いに役立つと思う。音楽Ⅱも引き続き日々の練習を重ねて実力をのばして欲しい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 吉田 直子 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
科目名称 : 音楽 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55304ba・ca 授業形態 : 演習 受講者数 : 12名 回答者数 : 10名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
10	-	-	-	-	-	-	10	-	-	

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
			1	2	3	4	5		
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.40						
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分以上 -	90分 程度 30.0%	60分 程度 50.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど して いない -	無 回 答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分以上 -	90分 程度 40.0%	60分 程度 40.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど して いない -	無 回 答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.60						
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 20.0%	やや 高かった 30.0%	適 切 で あ っ た 30.0%	やや 低 か っ た 20.0%	非 常 に 低 か っ た -	無 回 答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.70						
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は な か っ た	注意する 必要は な か っ た 70.0%	注意 して い た 10.0%	ある程度 注 意 し て い た 10.0%	あ ま り 注 意 し て い な か っ た 10.0%	全 く 注 意 し て い な か っ た -	無 回 答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.80						
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.50						
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.80						

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 吉田 直子 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽基礎演習 I (ソルフェージュ) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55400a・ab・b・ba **授業形態** : 演習 **受講者数** : 69名 **回答者数** : 64名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	64	-	-	-	-	-	-	64	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.11		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 7.8%	90分 程度 4.7%	60分 程度 26.6%	30分 程度 34.4%	ほとんど していない 26.6%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 7.8%	90分 程度 6.3%	60分 程度 35.9%	30分 程度 31.3%	ほとんど していない 18.8%	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.49		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 4.7%	やや 高かった 34.4%	適切 であった 46.9%	やや 低かった 14.1%	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.60		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 17.2%	注意 していた 65.6%	ある程度 注意 していた 15.6%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.43		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.30		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.78		■ ◆				

1 授業改善の工夫

自由記述が多く書かれていた音楽基礎演習 I について回答する。この科目は、学生のピアノ稽古事経験等の差が大きく、クラス授業をするうえで教員も非常に神経を使っている。ピアノ実技の演習は、読譜だけでもト音記号は読める、ヘ音記号も読める、スラスラ読める、数え数え読めるなどの多くの段階があり、リズムについても同様である。さらに読みとった内容を弾く段階でも、柔軟な指からこぼって動かない指までこれもさまざまである。そこでピアノ実技ができるだけスムーズに進められるようにこの科目でピアノを弾く以前の準備を丁寧におこなっているつもりである。「基礎演習」であるので全くの初心者でもついてこられるように丁寧に進めているため、わかりやすい、学びやすいという記述が多かったことでひとまず安心した。ただ一部の学生の記述のように、ピアノ稽古事経験があり内容が易すぎると感じていた学生数人の私語が多かった。ただ実情は他の学生が熱心なため授業中浮き上がっている状況であり、前期を終えてみると結果的にテストの出来が良くなく、その数人は後期は初心者クラスに転落する。度々注意はしてきたが、油断をしていたら初心者に追い抜かれることを自覚させるように促したい。学生の提案する座席指定については、学ぶ意欲に比例して席を選ぶ自由を学生に与えたいと考えているので、必要に迫られるようなら適宜考えたい。また、プリントで振り返りをしたいという記述があったが、オリジナルテキストがほぼ私の指導内容を反映しており、前期は学習内容が記憶する事項というより、理解した内容を身体で反応する能力開発が授業内容の主流であったので、後期にプリントで振り返る必要があるような理解事項がある時は適宜準備したい。

2 アンケート結果に対する見解

アンケートでは1週当たりの事前学習時間が平均約40分であり、事後学習時間は46分であった。このことから「音楽基礎演習 I」により、全くの初心者でも自分で学習できるように楽譜の読み方や弾き方などの足掛かりを作るという授業目的は、ほぼ達せられていたように思う。「自分の将来に役立つと思うか」という質問にも平均4.78で8割が5の「そう思う」と答えていたことから、実践的であると捉え意欲的に学習していたのだと思われる。授業レベルについて「非常に高かった」から「やや低かった」まで幅が広がっているのはこの授業の難しさを表しているが、初心者クラスと経験者クラスを慎重に分け、ある程度能力別に授業内容を対応させているので、現状ではこれが精一杯の工夫と考えている。選択設問に関しては、いつも適切な設問が無く、何を訊くか戸惑う。まだピアノ実技の前段階の準備を行なっている授業のアンケートで「学外実習に役立つか」訊いたのは、設問の選択ミスだったと反省している。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中島 倍代 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽基礎演習 I (理論) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55400bb・bc **授業形態** : 演習 **受講者数** : 30名 **回答者数** : 29名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	29	-	-	-	-	-	-	29	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.38		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 6.9%	90分 程度 6.9%	60分 程度 24.1%	30分 程度 24.1%	ほとんど していない 37.9%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 10.3%	90分 程度 6.9%	60分 程度 20.7%	30分 程度 20.7%	ほとんど していない 41.4%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.50		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 10.3%	やや 高かった 31.0%	適切 であった 51.7%	やや 低かった 3.4%	非常に 低かった -	無回答 3.4%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.62		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 51.7%	注意 していた 34.5%	ある程度 注意 していた 13.8%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.67		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.55		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.83		■				

1 授業改善の工夫

・伝える内容を 盛り込みすぎない。 ・グループが2つあるので 理解度に合わせてグループ分けを調整する。 ・説明したことを作業を通して定着させる。

2 アンケート結果に対する見解

理解度に差があり、どのレベルの説明をするかが難しいといつも思っている。 アンケートの意見を見ると、スピードが速すぎると感じる人 もっと進みたかったと感じる人 ちょうど良かったと感じる人 と様々である。 今年は 理解度に従って課題に差を設けたが まだ充分ではなかったようだ。 もっと工夫の余地があると思う。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 玉井 奈摘 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽Ⅲ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55321ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	6	-	-	-	-	-	6	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.83		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 33.3%	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 33.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 33.3%	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 33.3%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.83		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 16.7%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 50.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.83		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 83.3%	注意 していた 16.7%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.67		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.67		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.83		■ ◆				

1 授業改善の工夫

音楽Ⅲの課題に加え、表現の課題、実習の課題と取り組むものが沢山あり大変な様子だったがよく頑張っていたと感じる。全ての課題の譜読みを同時進行しなければならず、そうなるとうままだ楽譜を一人で読むことができない学生が投げ出してしまいそうな雰囲気すらあった。一人で読む力をつけて欲しいという考えから、敢えて新譜の説明はせず次回の課題として出していたが、各々の力量をみて譜読みが苦手の学生には説明してから渡すようにしていた。しかし、レッスン時間は一人ひとり時間設定があることから十分なケアができていなかったように思う。表現の担当の先生にも連絡、相談し、ML授業での練習時に注意して頂けるよう連携を取っていきたい。

2 アンケート結果に対する見解

ピアノの進捗、上達において練習時間との関係性は切っても切れない関係であり、常々その話はしていたが、ピアノが苦手な学生ほど練習時間が少ないように感じる。今年度の音楽ⅢはML授業がなかった為、レッスンを受けている者以外は練習室で個人練習時間となったが、②③の練習時間はその授業ない練習時間が含まれていて、実際にはもう少し少なかったのではないと思う。数年前は練習室の利用しているのをよく見かけたが、近年は減ってきている。⑩に関しては具体的な記述がなかったが、他の科目の課題や提出物が多く、音楽も表現の授業があるため中々時間がとれないとの声がよく聞かれた。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 本間 晶子 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽Ⅲ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55321ad **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	5	-	-	-	-	-	5	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.80		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 40.0%	90分 程度 40.0%	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 20.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 40.0%	90分 程度 40.0%	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 20.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.20		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 20.0%	やや 高かった 20.0%	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.20		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 40.0%	注意 していた -	ある程度 注意 していた 60.0%	あまり 注意し てい なかった -	全く 注意し てい なかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.20		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.20		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.20		■				

1 授業改善の工夫

この授業は、ピアノ初心者であった学生が、2回生でもピアノ実技のレッスンを受ける為に選択したというケースが多い。課題曲は「音楽Ⅰ・Ⅱ」に続くピアノ曲である。2回生前期には同時に「保育(表現・音楽)」も履修するので、弾き歌い曲も並行して練習せねばならず、週2回の実技授業は、練習がなかなか大変である。そこで、本授業では、予習の手助けがかなり必要であると思われる。ポイントだけでも実際に弾けるまで指導しておくか、または、録音・録画しておくことも有効である。

2 アンケート結果に対する見解

⑥⑧の「教員の説明の仕方はわかりやすかったか」「学生の理解度を配慮しながら授業を進めていたか」という質問に対する回答が、こちらの思いよりも低かったのが残念だ。「そう思う」が60%ではなく、100%を目指したい。教員に対する依存度の高い学生にとっては、自立を促した教え方が「ある程度」の選択肢を選ぶ要因となるのだろうか。どのような学生も「わかりやすい」と感じる授業を目指したい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 別所 崇 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 学習・発達論 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 52002ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 81名 **回答者数** : 69名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	69	-	-	-	-	-	-	69	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.09		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 5.8%	90分 程度 4.3%	60分 程度 13.0%	30分 程度 27.5%	ほとんど していない 47.8%	無回答 1.4%	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 4.3%	90分 程度 7.2%	60分 程度 14.5%	30分 程度 26.1%	ほとんど していない 47.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.48		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 14.5%	やや 高かった 49.3%	適切 であった 36.2%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.38		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 14.5%	注意 していた 75.4%	ある程度 注意 していた 10.1%	あまり 注意し てい なかった -	全く 注意し てい なかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.31		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.17		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.45		■				

1 授業改善の工夫

本講義は、発達心理学・教育心理学の内容を講義する科目ゆえ、ほとんどの学生が初めて心理学を学ぶことを想定して、子どもの発達のプロセスや心理的な特徴をわかりやすく伝える工夫を行った。また、教科書を使用して授業を進めているが、内容に最新の心理学の知見が反映されていない箇所(例えば発達障がい理解)があるため、適宜補助プリントを使用して講義を展開した。学生の居眠り防止のために、毎回講義の内容に即した教員個人の経験談を話す時間を設けた。

2 アンケート結果に対する見解

上記の改善の工夫が、学生に伝わっていたことが、アンケートの結果からわかった。(例えば、評価項目の④、⑥、⑩、⑪でそう思うが半数以上)しかし、一方で授業を通じて新しい知識や技術が得られ、問題意識や関心が高くなったか、という項目では、評価がやや低かった。これについては、当該科目の性質上古典的な発達理論や学習理論も、シラバスの中に組み込まれており、それが影響していることが考えられる。また、理論系の科目でもあるため、学生の問題意識の醸成までに至らなかった可能性も指摘できる。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 藤田 悦代 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : カリキュラム論 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53002ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 71名 **回答者数** : 64名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	64	-	-	-	-	-	-	64	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.25	■					
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 90分 程度 4.7% 7.8%	60分 程度 18.8%	30分 程度 25.0%	ほとんど していない 43.8%	無回答	-	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 90分 程度 6.3% 9.4%	60分 程度 18.8%	30分 程度 26.6%	ほとんど していない 39.1%	無回答	-	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.61	■					
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 9.4%	やや 高かった 12.5%	適切 であった 75.0%	やや 低かった 3.1%	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.64	■					
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 40.6%	注意 していた 42.2%	ある程度 注意 していた 14.1%	あまり 注意し てい なかつ た 3.1%	全く 注意し てい なかつ た -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.67	■					
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.41	■					
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.75	■					

1 授業改善の工夫

教科書とプリント資料を併用させながら、反復授業や振り返りを行い、具体的にわかりやすい授業づくりを心がけ、学生の理解度を配慮しながら進めていくように工夫する。

2 アンケート結果に対する見解

保育内容の充実と質の向上について、保育現場での様子やエピソードを取り入れながら、分かりやすく伝える。指導計画の作成については、保育実習に役立つよう、学生の理解度を配慮しながら進め、学生の思いや考えを出しやすい雰囲気づくりを心がける。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 北村 麻樹 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 教育実習指導b **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 57104 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 49名 **回答者数** : 45名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	44	1	-	-	-	-	43	-	2

※補助の形として入っているので記入できる所だけ記入しました。

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.31		■					◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分 以上 13.3%	90分 程度 6.7%	60分 程度 6.7%	30分 程度 13.3%	ほとんど していない 60.0%	無回答 -						
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分 以上 13.3%	90分 程度 6.7%	60分 程度 13.3%	30分 程度 8.9%	ほとんど していない 57.8%	無回答 -						
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	-	4.76		■					◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	-	非常に 高かった 15.6%	やや 高かった 24.4%	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -						
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	-	4.71		■					◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 24.4%	注意 していた 64.4%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -						
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	-	4.67		■					◇				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	-	4.71		■					◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	-	4.84		■					◇				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 増井 啓子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 教育実習指導b **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 57104 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 49名 **回答者数** : 45名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	44	1	-	-	-	-	43	-	2

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.31		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 13.3%	90分 程度 6.7%	60分 程度 6.7%	30分 程度 13.3%	ほとんど していない 60.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 13.3%	90分 程度 6.7%	60分 程度 13.3%	30分 程度 8.9%	ほとんど していない 57.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.76		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 15.6%	やや 高かった 24.4%	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.71		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 24.4%	注意 していた 64.4%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.67		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.71		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.84		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 谷岡 義高 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 教職入門 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 51042 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
		1	2	3	4	5		
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.50	■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 90分 程度 10.0%	90分 程度 -	60分 程度 10.0%	30分 程度 60.0%	ほとんど していない 20.0%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 90分 程度 10.0%	90分 程度 -	60分 程度 10.0%	30分 程度 70.0%	ほとんど していない 10.0%	無回答 -
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.80	■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 10.0%	やや 高かった 30.0%	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.40	■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 100.0%	注意 していた -	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.30	■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.60	■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.60	■				

1 授業改善の工夫

10人程度の学習なので、学生が模造紙に調べてことを書いて発表する機会を与え、全員が発表することができた。意欲的に取り組んでいたように思う。相互の学習の時の黒板記録を学生にさせて、将来教師になった時の、板書経験を深めた。実際の小学校の授業風景や集会発表風景、また、子どもの日記などを実ながら、子ども達の資質能力を高めるための方策を考え合うことができた。

2 アンケート結果に対する見解

教え込みの教育ではなくて、主体的な学習を伝えることに力をいれてきたが、ある程度学生に理解してもらったように思う。現場の教師が書いた授業実践のテキストを活用したので、具体的に授業の進め方を学び合うことができた。学生たちは、真剣に取り組んでいたと思う。教員になる学生のための講義の形式を更に模索したい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 官川 久美 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 国語 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55000a **授業形態** : 講義 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.20		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 60.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 10.0%	30分 程度 30.0%	ほとんど していない 60.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.60		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった -	やや 高かった 50.0%	適切 であった 50.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.10		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 30.0%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 20.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.20		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.20		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.50		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 重松 敬一 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 算数 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55140 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.10		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 20.0%	30分 程度 50.0%	ほとんど していない 30.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 10.0%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.30		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 20.0%	やや 高かった 40.0%	適切 であった 40.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.90		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 40.0%	注意 していた 30.0%	ある程度 注意 していた 30.0%	あまり 注意し てい なかつ た -	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.80		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.30		■				

1 授業改善の工夫

社会人入学でない学生にとっては、高校からの座学や理解・記憶中心の学びの態度が大きいために、算数科教育の実践に興味関心と問題意識をもたせ、自ら活動するように講義中に教科書の調べ学習、教材研究の課題や宿題を課したが、小学校教員としての意識や目的がはっきりしていない学生も多く、なかなか自主的な学びを促進するまでには至らなかった。それでも、以前に比べて、調べたり、探究したりするなどの具体的な活動を促すように授業の改善を図った。

2 アンケート結果に対する見解

授業者の期待する算数への学びの達成と学生の実感した学びの内容には、説明の方法や工夫だけではギャップがあるようなので、学生の意識できる算数の具体的な状況や課題を手がかりに、具体的な学習内容と、学習方法としての調べ学習や探究学習、受講生同士の対話のある学びの環境作りに一層心がけたいと考えている。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 梓川 一 職名 : 准教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 実習基礎指導(教育実習) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 57004 授業形態 : 演習 受講者数 : 60名 回答者数 : 54名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	54	-	-	-	-	-	-	53	-	1

※オムニバス形式での一担当者としてのチェックです。

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.52		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 7.4%	90分 程度 5.6%	60分 程度 38.9%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 31.5%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 7.4%	90分 程度 11.1%	60分 程度 37.0%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 27.8%	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.61		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 9.3%	やや 高かった 35.2%	適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.56		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 14.8%	注意 していた 77.8%	ある程度 注意 していた 5.6%	あまり 注意して いなかった 1.9%	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.48		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.54		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.89		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 北村 麻樹 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 実習基礎指導(教育実習) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 57004 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 60名 **回答者数** : 54名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	54	-	-	-	-	-	-	53	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.52		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 7.4%	90分 程度 5.6%	60分 程度 38.9%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 31.5%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 7.4%	90分 程度 11.1%	60分 程度 37.0%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 27.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.61		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 9.3%	やや 高かった 35.2%	適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.56		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 14.8%	注意 していた 77.8%	ある程度 注意 していた 5.6%	あまり 注意して いなかった 1.9%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.48		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.54		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.89		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 増井 啓子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 実習基礎指導(教育実習) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 57004 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 60名 **回答者数** : 54名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	54	-	-	-	-	-	-	53	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.52		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 7.4%	90分 程度 5.6%	60分 程度 38.9%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 31.5%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 7.4%	90分 程度 11.1%	60分 程度 37.0%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 27.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.61		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 9.3%	やや 高かった 35.2%	適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.56		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 14.8%	注意 していた 77.8%	ある程度 注意 していた 5.6%	あまり 注意して いなかった 1.9%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.48		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.54		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.89		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 藤田 悦代 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 実習基礎指導(教育実習・小) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 57006 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.50		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分以上 10.0%	90分程度 10.0%	60分程度 20.0%	30分程度 20.0%	ほとんど していない 40.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分以上 10.0%	90分程度 10.0%	60分程度 10.0%	30分程度 20.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.70		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 10.0%	やや 高かった 30.0%	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.70		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 70.0%	注意 していた 20.0%	ある程度 注意 していた 10.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.60		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.70		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.80		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 池田 英郎 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 児童館の機能と運営 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53319 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 7名 **回答者数** : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	5	-	-	-	-	-	5	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.80		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 60.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 40.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 60.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 40.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.80		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 20.0%	やや 高かった -	適切 であった 80.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.80		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 60.0%	注意 していた 40.0%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	5.00		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.80		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	5.00		■ ◆				

1 授業改善の工夫

現場の実践を多く交えながら理解を高めることを目標とした。少人数の授業の為、学生自身が考え、発言し、やりとりを行う授業を実施した。しかし、学生の興味関心の度合いが様々であったため、相互のやりとりの中での学び合いを生み出すことに苦労した。また、動画資料を多く活用し、興味関心を高める工夫を行い、毎回の授業で意見や感想を書いて、伝えるという工夫をした。

2 アンケート結果に対する見解

分かりやすい授業と、表面的な理解ではない深い考察につながる授業の両面を意識したが、どこまで深い考察につながったのかは疑問が残る。事前の学習や事後のふりかえりについては、特に指示をしなかったが、興味を持って学習する学生もいた様子があった。授業の工夫によって、ある程度興味関心を高めることはできたのかと思う。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 瀬戸野 喜雄 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 社会的養護内容 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53221ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 56名 **回答者数** : 48名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	1	47	-	-	-	-	-	46	-	2

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
		1	2	3	4	5		
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	2	3.92	■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 2.1%	90分 程度 -	60分 程度 10.4%	30分 程度 14.6%	ほとんど していない	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 2.1%	90分 程度 -	60分 程度 8.3%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない	無回答 -
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.02	■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 8.3%	やや 高かった 25.0%	適切 であった 64.6%	やや 低かった 2.1%	非常に 低かった -	無回答 -
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.94	■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	全く 注意して いなかった	注意する 必要は なかった 22.9%	注意 していた 29.2%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった 14.6%	全く 注意して いなかった -	無回答 -
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.98	■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.81	■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.00	■				

1 授業改善の工夫

教科書だけでなく、新聞記事、関係書籍、DVDなどを適宜使用しながら授業を進めた。演習課題について学生間で話しあい、その内容を記載し考えていることを言葉で表すようにした。また、学生の表現力をつけるため1つの課題について数人の意見を発表するようにした。新聞記事、関係書籍なども分担して数人の学生に読んでもらうようにした。毎回の授業で気になったこと、分からなかったことを記載し授業終了後に提出するようにした。

2 アンケート結果に対する見解

今年から初めて大学の非常勤教員となり、90分の授業をこなすことがなかなか慣れなかった。授業を受ける学生の態度は様々であり特にどんな態度をしていても「授業料を払っている主体者」として注意はしなかったが、真面目に受講している学生のために授業の雰囲気づくりについては後期には配慮していきたい。自由記述には貴重な意見が多くありいろいろ組み合わせることにより授業を学生とともにやっていく参考にしたい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 梓川 一 職名 : 准教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 社会福祉 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 51000ab 授業形態 : 講義 受講者数 : 89名 回答者数 : 78名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	71	7	-	-	-	-	-	76	-	2

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.87		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 3.8%	90分 程度 2.6%	60分 程度 9.0%	30分 程度 17.9%	ほとんど していない 64.1%	無回答 2.6%	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 2.6%	90分 程度 5.1%	60分 程度 11.5%	30分 程度 21.8%	ほとんど していない 57.7%	無回答 1.3%	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.99		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 20.5%	やや 高かった 41.0%	適切 であった 37.2%	やや 低かった 1.3%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.73		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 10.3%	注意 していた 55.1%	ある程度 注意 していた 30.8%	あまり 注意して いなかった 3.8%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.73		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.81		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.16		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中島 順子 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 障害児保育 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53211ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 58名 **回答者数** : 54名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	2	52	-	-	-	-	-	52	-	2

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.11		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 5.6%	90分 程度 1.9%	60分 程度 5.6%	30分 程度 14.8%	ほとんど していない 72.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 5.6%	90分 程度 1.9%	60分 程度 5.6%	30分 程度 14.8%	ほとんど していない 72.2%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.37		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 16.7%	やや 高かった 20.4%	適切 であった 61.1%	やや 低かった -	非常に 低かった 1.9%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.26		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 20.4%	注意 していた 55.6%	ある程度 注意 していた 20.4%	あまり 注意して いなかった 1.9%	全く 注意して いなかった 1.9%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.30		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.19		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.50		■				

1 授業改善の工夫

授業の進め方はシラバスに出来るだけ合わせています。居眠りの対策、スマホの対策など工夫しております。その1つとして記述も入れております。書き能力に個人差があります。授業の進め方や分かりやすさは今後も課題として、より分かりやすい・理解しやすい教材・資料にしていきたいと考えております。

2 アンケート結果に対する見解

授業内容については、教科書、視覚教材、プリントなどを使いできるだけ、学生に理解できるように工夫しました。⑩自由記述の「スライドをゆっくりとして欲しい」「先生の説明が分かりにくすぎる」とのことでしたが、スライドは資料と同じもので、書き込みの時間も十分与えているつもりでした。学生の記述時間の個人差を今後も配慮していきたいです。また、説明の分かりにくさについては、1回では理解しにくい、イメージできにくいものについても、話だけでなく、スライドや映像を交えて何度も授業に織り交ぜ説明をしながら進めました。授業内容④⑤での回答でそのことが理解されているように思います。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 安永 龍子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 小児保健A **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 52100ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 73名 **回答者数** : 63名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	60	3	-	-	-	-	-	63	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.16		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 3.2%	90分 程度 6.3%	60分 程度 12.7%	30分 程度 15.9%	ほとんど していない 61.9%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 1.6%	90分 程度 7.9%	60分 程度 11.1%	30分 程度 20.6%	ほとんど していない 58.7%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.40		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.1%	やや 高かった 25.4%	適切 であった 63.5%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.40		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 22.2%	注意 していた 63.5%	ある程度 注意 していた 14.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.37		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.13		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.56		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 安永 龍子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 小児保健演習 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 52121abc **授業形態** : 演習 **受講者数** : 58名 **回答者数** : 51名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	48	2	1	-	-	-	47	1	3

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.96		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 3.9%	90分 程度 -	60分 程度 5.9%	30分 程度 13.7%	ほとんど していない	無回答 76.5%	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 3.9%	90分 程度 -	60分 程度 5.9%	30分 程度 15.7%	ほとんど していない	無回答 74.5%	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.12		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 13.7%	やや 高かった 23.5%	適切 であった 56.9%	やや 低かった -	非常に 低かった 2.0%	無回答 3.9%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.02		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 13.7%	注意 していた 56.9%	ある程度 注意 していた 23.5%	あまり 注意して いなかった 3.9%	全く 注意して いなかった 2.0%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.86		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.86		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.29		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 生活 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55200a **授業形態** : 講義 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 8名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	8	-	-	-	-	-	-	8	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.50		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 12.5%	30分 程度 25.0%	ほとんど していない 62.5%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 50.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.50		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 12.5%	やや 高かった 37.5%	適切 であった 50.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.63		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 75.0%	注意 していた 25.0%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.63		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.50		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.63		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 北村 麻樹 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : ゼミナール I (音楽) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 56100a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 16名 **回答者数** : 13名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	12	-	-	1	-	-	-	12	-	1

評価項目		教員の自己評価	学生の評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.54		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上 7.7%	90分程度 7.7%	60分程度 38.5%	30分程度 15.4%	ほとんどしていない 30.8%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上 7.7%	90分程度 7.7%	60分程度 38.5%	30分程度 15.4%	ほとんどしていない 30.8%	無回答	-
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.62		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切であった	非常に高かった 7.7%	やや高かった 7.7%	適切であった 84.6%	やや低かった	非常に低かった	無回答	-
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.62		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する必要はなかった 46.2%	注意していた 53.8%	ある程度注意していた	あまり注意していません	全く注意していません	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.69		■ ◆				
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.54		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.92		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 増井 啓子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : ゼミナール I (音楽) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 56100a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 16名 **回答者数** : 13名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	12	-	-	1	-	-	-	12	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.54		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 7.7%	90分 程度 7.7%	60分 程度 38.5%	30分 程度 15.4%	ほとんど していない 30.8%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 7.7%	90分 程度 7.7%	60分 程度 38.5%	30分 程度 15.4%	ほとんど していない 30.8%	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.62		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 7.7%	やや 高かった 7.7%	適切 であった 84.6%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.62		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 46.2%	注意 していた 53.8%	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.69		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.54		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.92		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 吉田 直子 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : ゼミナール I (音楽) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 56100a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 16名 **回答者数** : 13名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	12	-	-	1	-	-	-	12	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.54		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 7.7%	90分 程度 7.7%	60分 程度 38.5%	30分 程度 15.4%	ほとんど していない 30.8%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 7.7%	90分 程度 7.7%	60分 程度 38.5%	30分 程度 15.4%	ほとんど していない 30.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.62		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 7.7%	やや 高かった 7.7%	適切 であった 84.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.62		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 46.2%	注意 していた 53.8%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.69		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.54		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.92		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : ゼミナール I (心と発達) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 56100b **授業形態** : 演習 **受講者数** : 7名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	6	-	-	-	-	-	-	6	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.67		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 83.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 83.3%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	1	4.00		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 16.7%	適切 であった 83.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	-	4.67		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 16.7%	ある程度 注意 していた 16.7%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.83		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.67		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	5.00		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 別所 崇 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : ゼミナール I (心と発達) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 56100b 授業形態 : 演習 受講者数 : 7名 回答者数 : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	6	-	-	-	-	-	-	6	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.67		◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 83.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 83.3%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	1	4.00		◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 16.7%	適切 であった 83.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.67		◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 16.7%	ある程度 注意 していた 16.7%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.83		◇				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.67		◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00		◇				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 藤田 悦代 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : ゼミナール I (こども教育) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 56100f **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	9	-	-	1	-	-	-	10	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.30		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 -	90分 程度 10.0%	60分 程度 20.0%	30分 程度 -	ほとんど していない 70.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 -	90分 程度 20.0%	60分 程度 10.0%	30分 程度 -	ほとんど していない 70.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.80		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 40.0%	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.80		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 80.0%	注意 していた 20.0%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.90		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.60		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.80		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 官川 久美 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : ゼミナール I (自然と遊び) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 56100d **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	8	-	-	1	-	-	-	9	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.56		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.89		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.22		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.22		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	4.56		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.44		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 増井 啓子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : ゼミナールⅡ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 56200b **授業形態** : 演習 **受講者数** : 26名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	-	-	-	9	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.89		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.44		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.11		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.33		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.67		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.89		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 吉川 れい **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 造形美術 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55500abc **授業形態** : 演習 **受講者数** : 81名 **回答者数** : 67名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	67	-	-	-	-	-	-	66	-	1

評価項目	教員の自己評価	学生の評価平均		◇ 教員の自己評価						
		学生の評価平均		■ 学生の評価平均						
		1	2	3	4	5				
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.28		■					◇
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上 3.0%	90分程度 3.0%	60分程度 6.0%	30分程度 11.9%	ほとんどしていない 73.1%	無回答 3.0%		
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 3.0%	90分程度 1.5%	60分程度 7.5%	30分程度 16.4%	ほとんどしていない 68.7%	無回答 3.0%		
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.13		■					◇
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや高かった	非常に高かった 11.9%	やや高かった 17.9%	適切であった 68.7%	やや低かった 1.5%	非常に低かった -	無回答 -		
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.27		■					◇
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する必要はなかった 26.9%	注意していた 53.7%	ある程度注意していた 16.4%	あまり注意していなかった 3.0%	全く注意していなかった -	無回答 -		
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.24		■					◇
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.16		■					◇
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.53		■					◇

1 授業改善の工夫

本年度は、毎回授業後にスケッチブックの点検を行った。各学生の進捗や問題点があると同時にクラス全体のそれも把握することができ次回の授業に役立った。白板前で説明する機会が多いが、後ろの席からはわかりにくいのではと後方にも図やポイントを書いた紙を掲示した。教室は大学生が入ると結構狭く、材料を取りに行く、ゴミを捨てに行くといった移動も席によっては、面倒で集中が途切れたりすることがあるので、置き場所の位置や数を試行錯誤している。

2 アンケート結果に対する見解

立体作品の説明は白板やプリントでは分かりづらいこともあるので、参考作品の提示はもちろん、制作途中の状態のものを何段階か作って提示し説明している。視聴覚教材の一種のつもりだがそうとは認識されていないようである。課題完成後に自作作品についてのレポートを課している。それは授業後の課題であるので、時間があれば授業中に取り組んでよいが、課題完成直後の授業中にはレポートをかく時間がない学生もいる。とは言え、最終授業ですべての課題の完成と手直しができる時間を作っているのではほとんどの学生はそこで仕上げる事ができている。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 北村 麻樹 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 総合演習(音楽) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 54201a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 9名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	9	-	-	-	-	-	8	-	1

評価項目	教員の自己評価	学生の評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
		1	2	3	4	5		
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.11	■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上 33.3% 90分程度 -	60分程度 11.1%	30分程度 -	ほとんどしていない 55.6%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上 33.3% 90分程度 -	60分程度 11.1%	30分程度 -	ほとんどしていない 55.6%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.44	■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切であった	非常に高かった 33.3% やや高かった 11.1%	適切であった 55.6%	やや低かった -	非常に低かった -	無回答 -	
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.89	■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度注意していた	注意する必要はなかった 66.7% 注意していた 22.2%	ある程度注意していた 11.1%	あまり注意していませんでした -	全く注意していませんでした -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.89	■				
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.67	■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.78	■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 増井 啓子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 総合演習(音楽) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 54201a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	-	-	-	8	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.11		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 33.3%	90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 -	ほとんど していない 55.6%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 33.3%	90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 -	ほとんど していない 55.6%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.44		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった 11.1%	適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.89		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 22.2%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.89		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.67		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.78		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 吉田 直子 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 総合演習(音楽) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 54201a 授業形態 : 演習 受講者数 : 10名 回答者数 : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	-	-	-	8	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.11		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 33.3%	90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 -	ほとんど していない 55.6%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 33.3%	90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 -	ほとんど していない 55.6%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.44		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった 11.1%	適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.89		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 22.2%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.89		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.67		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.78		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 総合演習(心と発達) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 54201b **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 12名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	12	-	-	-	-	-	12	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 8.3%	30分 程度 8.3%	ほとんど していない 83.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 8.3%	30分 程度 8.3%	ほとんど していない 83.3%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	1	4.00		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 16.7%	適切 であった 83.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.18		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 50.0%	注意 していた 25.0%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.33		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.83		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.00		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 別所 崇 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 総合演習(心と発達) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 54201b 授業形態 : 演習 受講者数 : 12名 回答者数 : 12名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	12	-	-	-	-	-	12	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.33		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	1	4.00		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.18		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.33		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	3.83		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.00		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 宮川 久美 職名 : 教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 総合演習(自然と遊び) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 54201d 授業形態 : 演習 受講者数 : 17名 回答者数 : 13名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	13	-	-	-	-	-	12	-	1

評価項目		教員の自己評価	学生の評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.54		■■■■■ ◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上 7.7%	90分程度 -	60分程度 -	30分程度 -	ほとんどしていない 92.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上 7.7%	90分程度 -	60分程度 -	30分程度 -	ほとんどしていない 92.3%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.62		■■■■■ ◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切であった	非常に高かった 7.7%	やや高かった -	適切であった 84.6%	やや低かった -	非常に低かった 7.7%	無回答 -	
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.08		■■■■■ ◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する必要はなかった 15.4%	注意していた 53.8%	ある程度注意していた 23.1%	あまり注意していませんでした -	全く注意していませんでした 7.7%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.92		■■■■■ ◇				
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	4.00		■■■■■ ◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.15		■■■■■ ◇				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 別所 崇
 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 相談援助
 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 53325ab 授業形態 : 演習 受講者数 : 56名 回答者数 : 48名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	2	43	1	2	-	-	-	45	-	3

評価項目		教員の自己評価	学生の評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.06		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分以上 8.3%	90分程度 4.2%	60分程度 2.1%	30分程度 18.8%	ほとんどしていない 66.7%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分以上 12.5%	90分程度 4.2%	60分程度 -	30分程度 18.8%	ほとんどしていない 64.6%	無回答	-
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.31		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや高かった	非常に高かった 18.8%	やや高かった 45.8%	適切であった 35.4%	やや低かった -	非常に低かった -	無回答	-
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.42		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する必要はなかった 16.7%	注意していた 66.7%	ある程度注意していた 14.6%	あまり注意していません 2.1%	全く注意していません -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.21		■				
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.06		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.50		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 梓川 一 **職名** : 准教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 相談援助演習 I **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53320 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 7名 **回答者数** : 7名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	7	-	-	-	-	-	-	7	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.29		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.00		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.43		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意し てい なかった	全く 注意し てい なかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.14		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.29		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.43		■				

1 授業改善の工夫

社会福祉士養成の学びとは、専門的な知識と技術の習得ばかりではなく、その土台には、価値と価値観の認識と、人間性の涵養が必要となる。こうした学びには、高校までの学びとは異なり、そこには解答はなく、もちろん模範解答などはありえない。まず、演習では、目指すところには解答がないこと、そして対人援助においてはそうした状況において仲間とともに考えあうことの重要性を、頭ばかりではなく、心で、体で感じてもらうことを授業の主たるテーマにしている。解答がなく、もやもやして、学びを拒否するのは対人援助の学びはできない。つまり、人間関係における学びの姿勢と本質を感じることができれば、相談援助の学びは、ほぼ達成できているといえる。それゆえに、本授業では、自分と向き合う、他人と向き合う、そして関係性の中で考えあう・感じあうをテーマに様々な事例ケースを活用して、多様なワークを取り入れた。さらにこうした学びができるためには、演習クラスの自由な雰囲気と、ありのままに発言し合える関係性づくりが必要になる。特に、授業の始まりには、まずフリーな語り合いができることのムードづくりにも努めた。

2 アンケート結果に対する見解

上記の授業テーマからすれば、受講姿勢や雰囲気づくりについては、学生はおおむね理解してくれていたことがわかる。ただ、演習において、居眠りや私語を注意することそのものが、学びあいの雰囲気を壊すものであり、ここについては学生各自が演習における学びの姿勢を自覚する必要がある。授業のレベルが適切であるとの回答が多く、これについては教員としても納得がいく。教員としては回数を重ねるごとに、よりレベルを上げていたつもりであるため、そこに十分に追従できていること、またそれら演習内容を適切と感じることは、学生がレベルを上げてきていることを感じる。ここから学生の今後のさらなる可能性を感じる。本演習が将来に向けて役立つとの回答が多いことは、自身の将来構想ができつつあること、そのうえでモチベーションが高くなっていることが伺える。ソーシャルワークに関する専門的な学びの内容が増えていく中で、こうした意識が持てる・維持できることは極めて重要である。選択設問として、授業のねらいを設定した。私は第一回目オリエンテーションにおいて、必ずシラバスを配布し、授業のねらいと達成目標、各授業内容、評価方法を説明し、学生と契約を交わす。私個人としては、授業を受けるうえで、その授業のねらいと目的が明確であることが、受講する学生として最も基礎的かつ重要であると考えられている。以上の観点から、学生の学びの意識とともに、今後の成長・のびしろを感じることができる。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 東條 佳史 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 体育 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55600ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 44名 **回答者数** : 35名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	35	-	-	-	-	-	-	35	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
		1	2	3	4	5		
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.31	■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 5.7%	90分 程度 5.7%	60分 程度 -	30分 程度 14.3%	ほとんど していない 71.4%	無回答 2.9%
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 5.7%	90分 程度 5.7%	60分 程度 2.9%	30分 程度 17.1%	ほとんど していない 68.6%	無回答 -
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	2	2.54	■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 17.1%	やや 高かった 11.4%	適切 であった 62.9%	やや 低かった 2.9%	非常に 低かった 5.7%	無回答 -
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.46	■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 37.1%	注意 していた 25.7%	ある程度 注意 していた 25.7%	あまり 注意し ていなかった 5.7%	全く 注意し ていなかった 5.7%	無回答 -
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.34	■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	3	3.89	■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.14	■ ◆				

1 授業改善の工夫

授業では球技を中心として、生徒自身の体力向上にも貢献できるように授業を行ってきた。しかし、授業の対象を主に大学生としていたため、幼稚園や保育園で仕事をしたときに、生かせる内容が多くなかったように思われる。今後は、生徒自身の体力向上と同時に、仕事をしたときに生かせる内容をより多く取り入れていきたいと考えている。

2 アンケート結果に対する見解

体育という授業の特性上、予習・復習の時間があまりなかったことは仕方がないことだと考えている。また、実施種目が少なく、グラウンドで行う種目や生徒から要望があった種目など、実施できるようにしたいと考えている。さらに、授業を通して、将来に生かせるような新しい知識や高度な知識をより多く得られるようにしていきたいと考えている。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 増井 啓子 職名 : 教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 保育・教職入門 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 51045ab 授業形態 : 講義 受講者数 : 71名 回答者数 : 62名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	62	-	-	-	-	-	1	61	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.23		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 3.2%	90分 程度 8.1%	60分 程度 24.2%	30分 程度 19.4%	ほとんど していない 45.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 3.2%	90分 程度 8.1%	60分 程度 21.0%	30分 程度 27.4%	ほとんど していない 40.3%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.69		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 14.5%	やや 高かった 19.4%	適切 であった 66.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.73		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 24.2%	注意 していた 62.9%	ある程度 注意 していた 12.9%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.63		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.60		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.75		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 安永 龍子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育(健康) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53100ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 62名 **回答者数** : 56名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	56	-	-	-	-	-	53	-	3

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	3	4.02		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 5.4%	90分 程度 3.6%	60分 程度 7.1%	30分 程度 10.7%	ほとんど していない	73.2%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 5.4%	90分 程度 3.6%	60分 程度 7.1%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない	71.4%	無回答 -
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.05		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 12.5%	やや 高かった 28.6%	適切 であった 55.4%	やや 低かった 1.8%	非常に 低かった 1.8%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.84		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 19.6%	注意 していた 55.4%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意 してい なかった	全く 注意 してい なかった	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.82		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	3.82		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.04		■				

1 授業改善の工夫

この教科を担当して4・5年目になるが、まだ授業の体勢が整っていない状態で、毎年試行錯誤している。学生に興味を持たせた授業を展開していくのに悩んでいるところである。今年は学生の実習後に幼稚園児の遊びについて、自分が体験したことを幼児期の運動指針とあわせて考えてもらったが、幼児のさまざまな身体の動きをどのような遊びから引き出していくかまでは到達できなかった。講義形式が多くなる授業を少し演習を取り入れた授業展開をするため、工夫をしていきたいと考えている。

2 アンケート結果に対する見解

健康に関する子供の問題を伝えるために、新聞や文献資料など多くのプリントを配布したが、分かりづらいという自由記述もあった。授業内容の回答では、④においては、8割弱の学生は授業の理解に繋がったと回答はしているが、今後プリントなど教材の使用に関して検討をしていく必要があると考える。またDVDなどの視聴覚教材の使用も検討していきたい。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 北村 麻樹 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育原理 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 51051ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 82名 **回答者数** : 74名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	73	1	-	-	-	-	-	74	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.23		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 1.4%	90分 程度 12.2%	60分 程度 14.9%	30分 程度 20.3%	ほとんど していない 51.4%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 1.4%	90分 程度 6.8%	60分 程度 17.6%	30分 程度 25.7%	ほとんど していない 48.6%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.57		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 6.8%	やや 高かった 10.8%	適切 であった 81.1%	やや 低かった 1.4%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.65		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 24.3%	注意 していた 56.8%	ある程度 注意 していた 16.2%	あまり 注意し てい なかつ た 1.4%	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 1.4%	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.51		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.31		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.76		■				

1 授業改善の工夫

この科目の内容を、実習基礎指導でテストを行うため、テスト勉強を含めた復習を学生に行うように伝えていたが、学生はテスト勉強と捉え授業の復習としての認識はなかったようである。教員側から、テストのためだけではなくこれから必要となる知識を深めるために、学生にもっと復習しやすいような課題を設定しておくことが必要であったと考える。また、保育の基礎を学ぶ科目であるため、学生のレベルに合わせた授業を行ったつもりであったが、学生によっては進むスピードが速いと感じたり、物足りないと感じたりすることもあると思うので、いつも一定の流れで授業を行うのではなく、内容によって時間をかけたり、次々進んだりリズムを変えながら進めることも必要であると考えます。

2 アンケート結果に対する見解

評価項目⑨の回答についてであるが、基礎の部分であるこの科目から得られた知識に、今後様々な学びが積み重ねられていくと思うので、どの学生もが関心が高くなったと感じられるような内容にしていくことが必要であると感じる。また、学生が知りたい内容についての要望も踏まえながら、興味をもてるよう工夫して進めていくことが今後必要である。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 北村 麻樹 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育実習指導 I b **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 57204 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 48名 **回答者数** : 47名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	1	46	-	-	-	-	-	46	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.32		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 10.6%	90分 程度 6.4%	60分 程度 14.9%	30分 程度 14.9%	ほとんど していない 53.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 10.6%	90分 程度 4.3%	60分 程度 19.1%	30分 程度 17.0%	ほとんど していない 48.9%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.38		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 19.1%	やや 高かった 10.6%	適切 であった 63.8%	やや 低かった 6.4%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.26		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 19.1%	注意 していた 61.7%	ある程度 注意 していた 14.9%	あまり 注意して いなかった 4.3%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.04		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	4.21		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.57		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育実習指導 I b **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 57204 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 48名 **回答者数** : 47名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	1	46	-	-	-	-	-	46	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.32		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 10.6%	90分 程度 6.4%	60分 程度 14.9%	30分 程度 14.9%	ほとんど していない 53.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 10.6%	90分 程度 4.3%	60分 程度 19.1%	30分 程度 17.0%	ほとんど していない 48.9%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.38		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 19.1%	やや 高かった 10.6%	適切 であった 63.8%	やや 低かった 6.4%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.26		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 19.1%	注意 していた 61.7%	ある程度 注意 していた 14.9%	あまり 注意して いなかった 4.3%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.04		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.21		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.57		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 増井 啓子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育表現演習 I **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53166abc **授業形態** : 演習 **受講者数** : 52名 **回答者数** : 48名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	1	47	-	-	-	-	-	47	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.38		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.2%	90分 程度 2.1%	60分 程度 10.4%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない 70.8%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 6.3%	90分 程度 2.1%	60分 程度 10.4%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない 68.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.77		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 16.7%	やや 高かった 8.3%	適切 であった 75.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.75		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 29.2%	注意 していた 54.2%	ある程度 注意 していた 16.7%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.76		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.67		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.81		■				

1 授業改善の工夫

授業を受ける人数の割りに講義の部屋が狭いため場の設定を考えていく必要がある。特に授業の中で実際に展開していく活動となるため場の構成が難しいので、時には季節を取り入れてグランドやビオトープの広場でしたり、体育館を利用するなど活動内容に合わせて場の構成を考えた。

2 アンケート結果に対する見解

演習科目であるため、学生自身が主体的に考えたり、活動したりできる時間をできるだけ多くもった。表現は、季節を意識した表現や発達段階を考えた内容を計画した。特に身体的活動や音楽的活動(歌う、踊る、リズムに合わせるボディパーカッション、手遊び)・造形表現(身近な素材を使って作る、描く、環境を構成する)言語的表現(絵本、紙芝居、パネルシアター、ペープサート)などを通して子どもの生活や遊びの中での表現のとらえ方を学ぶとともに、表現する楽しさを味わえる環境構成や援助のあり方を考えた。また、保育者自身の表現力が子どもの表現力に大きくかかわるものであるから、自分自身の表現力を見直し、豊かにしていくことを目指した。授業はすべての学生が活動的に取り組めるよう具体的でわかりやすい声掛けを意識した。

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 奥田 尚子 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育(表現・音楽) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53141aa・bb **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 11名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	11	-	-	-	-	-	11	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.45		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 18.2%	90分 程度 36.4%	60分 程度 18.2%	30分 程度 18.2%	ほとんど していない 9.1%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 18.2%	90分 程度 27.3%	60分 程度 18.2%	30分 程度 27.3%	ほとんど していない 9.1%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.73		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 低かった	非常に 高かった 27.3%	やや 高かった 45.5%	適切 であった 27.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.55		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 54.5%	注意 していた 36.4%	ある程度 注意 していた 9.1%	あまり 注意し てい なかつ た -	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.73		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.64		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.73		■				

1 授業改善の工夫

本年度から 音楽基礎演習のテキストを使用した。テキストは主にハ長調の譜面で レヴェルの高くない学生には有難かった 半面 ハ長調は現場では低すぎる曲があり 現場にそくした調での経験をさせたいと思った。学生がハ長調ばかりを弾きたがり 曲により調性の指定もしくは 何曲以上など ある程度縛りがあればと感じた。MLで和音の伴奏形を練習したのが 効果的だった。 テキストは譜面に自分で歌詞を書き込む形式だが ほとんどの学生が書いておらず、うる覚えの歌詞でその場しのぎのような場面が多々見られた。又、本を持ってこない 借りて済ませる 又は書き込みをした友達の本でちゃっかり授業を受けるなど 目に余る場面が多々見受けられた。

2 アンケート結果に対する見解

おおむね 意図したことをしっかりとみ取ってくれた結果と感じます。 個々のレヴェルや好みに合わせて 伴奏を工夫する必要がありコミュニケーションを しっかりとることを特に意識した。アレンジで曲の雰囲気が変わることを体験してもらえたと思います 益々充実した授業が出来るように 工夫していこうと思いました

教員による授業アンケート (2017年度 前期)

教員名 : 藤田 悦代 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 幼児理解 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 52220ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 58名 **回答者数** : 55名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	1	53	-	1	-	-	-	54	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.11		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分以上 3.6%	90分程度 9.1%	60分程度 9.1%	30分程度 10.9%	ほとんど していない 67.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分以上 3.6%	90分程度 9.1%	60分程度 14.5%	30分程度 18.2%	ほとんど していない 54.5%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.42		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 9.1%	やや 高かった 14.5%	適切 であった 74.5%	やや 低かった 1.8%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業の 進め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.54		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 25.5%	注意 していた 52.7%	ある程度 注意 していた 20.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 1.8%	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.57		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.36		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.58		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

